

公益社団法人 日本てんかん協会

第 45 回 総 会 議 案 書



日時 2022（令和4）年6月5日(日) 10時～12時

会場 福祉財団ビル7F 会議室

(東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル7F)

※皆さまの議決権は、書面により行使していただきます。

第1号議案 2021（令和3）年度事業報告書

第2号議案 2021（令和3）年度会計報告書

第3号議案 2022（令和4）年度事業計画書（案）

第4号議案 2022（令和4）年度会計予算書（案）



● 正会員の皆さまへ

公益社団法人日本てんかん協会の第45回総会開催にあたり、ここに各議案を提案いたします。これらの議案は、理事会において審議され総会に提案されるものです。ぜひ全文をご熟読ください、皆さまのご意見をお寄せください。総会は、協会における最高議決機関ですので、「正会員」の皆さまは同封しました『書面表決書』に必要事項を記載し必ずご提出ください。また、別紙の「意見書」にてご意見もぜひお寄せください。

なお、本議案は、表記が大変細かな内容となり恐縮ですが、別途協会ホームページ-会員ログイン内 (<https://www.jea-net.jp/login>) にPDF版（1頁1枚）を掲載しております。上記QRコードを読み取りアクセスいただくことでダウンロードも可能となっておりますので、ご活用ください。

2022（令和4）年5月1日
公益社団法人日本てんかん協会 会長 梅本里美

第1号議案

2021（令和3）年度事業報告書（2021年4月1日～2022年3月31日）

今年度も、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止に配慮する活動の1年でした。特に、支部活動が十分に機能できず、多くのてんかんのある本人や家族との直接交流の機会が持てず、会員を増やすことや情報を提供することが限られました。一方で、総会に始めて書面決議を導入し、てんかん基礎講座や全国大会を完全オンライン開催するなど、新しい日常にあった取り組みを試行し一定の成果を得ました。まだ続くコロナ禍における、新たな活動のあり方として今後地域活動でも、取り入れていく必要があります。

2021年は、東日本大震災と栃木クレーン車事故から10年の節目の年でした。また、第13回アジア・オセアニアてんかん学会議(AOEC2020)の国内開催、東京パラリンピック2020への協会会員出場、そして世界てんかんの日全世界共通イベント実施と、国際交流を通じて日本のてんかん運動を周知する絶好の機会でした。しかし復興大会を掲げた全国大会（福島大会）、福岡に関係者が集うはずのAOEC、会員のアスリートを全国から応援する予定だったパラリンピックも、全てオンライン開催や画面越しの応援となり、当初期待したほどの盛り上がりとはなりませんでしたが、必要な情報は全国に配信できました。てんかん施策では、世界保健機構（WHO）のてんかんケア推進への行動計画を多くの国が賛同し、国内でも政府のてんかん地域診療連携体制整備事業が全国23カ所に事業拡大し、来年度には半数の自治体での実施が現実化してきました。

そんな中、医薬品出荷調整から全国の調剤薬局で抗てんかん薬が入手しにくいという異常事態が生じ、協会も国や製薬関連団体に、薬を必要している人に安心して適切に届けられるしくみを改めて要望しました。

また、「公益社団法人」としては8年目を迎え、会員制度や支部組織（活動）の安定・活性化に向け専門委員会や理事会での意見交換を重ね、今後会費や補助・助成金が伸び悩み財政危機の状況が逼迫することが予想される中で、2023年の運動50周年に向けたこれまでの総括と将来構想の検討を進めました。

なお、年度当初に計画した活動の中で、人的・財的な不足などから、今年度中に実施できなかった事業、十分な成果を得られなかった事業については、新年度の活動の中で引き続き検討を進めて参ります。

以上から、社会的背景、特筆すべき取り組み、実現に時間要する活動の要点を次にまとめます。

1. 社会的背景

- ①全国にまん延する「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止下での新たな形式による活動
- ②東日本大震災、栃木クレーン車事故から10年を迎える、自然災害対策と自動車運転に係る情報発信
- ③AOEC国内開催、WHO決議、東京パラリンピックなどを通じ、国際的な啓発・支援活動に参画
- ④医薬品出荷調整騒動を通じ、自立支援医療制度利用者への安心した供給体制の必要性を要望
- ⑤てんかんを正しく理解する各種専門職の不在（地域の特性を活かした支援体制の整備）
- ⑥てんかんに対する過度な社会防衛的反応と経済的不安を抱えた企業での働く場の確保の困難さ
- ⑦補助金、助成金事業の先細りと製薬業界などによる支援活動の透明性・公表ガイドラインの実施

2. 特筆すべき取り組み

- ①コロナ禍で初の書面表決総会、てんかん基礎講座・全国大会の完全オンライン開催（その他各種会議は、前年度からオンライン対応を一部導入済み）
- ②インスタグラムを活用した新たな啓発活動、お母さんのためのWeb交流会の試行開始
- ③医薬品流通問題に際し抗てんかん薬も影響を受け、厚生労働省に必要な人に薬が届くように申し入れ
- ④WHO総会（てんかんに係る）決議の推進と「世界てんかんの日」の制定を受けた国内活動
- ⑤マスコミと連携した活動（番組や記事連載の共同企画、記者への啓発活動）
- ⑥国内てんかん関連組織（日本てんかん学会、全国てんかんセンター協議会、てんかん治療研究振興財団、ドーベ症候群患者家族会、てんかん対策推進プロジェクトチーム）との連携強化（合同会議の定例化、国政への連名による要望、他）と、国の地域診療連携体制整備事業のさらなる拡充に向けた働きかけ

3. 実現に時間を要する活動

- ①SNSを活用した会員やてんかんのある人たちとの情報交信の実現
- ②会費依存体质の見直しと独自財源の確保
- ③新しい時代に合った支部・ブロック活動と役員候補者の発掘と育成（地域ネットワークづくりの見直し）
- ④学校教育現場や働く場への直接的なアプローチ

以下、今年度内に計画をした事業の内、次の事業を実施しましたので報告いたします。

I. てんかんに関する正しい知識の普及啓発及びその理解の促進を図るための講演会及び研修会の開催事業

「てんかんを正しく理解する月間(てんかん月間2021)」の実施

※日本てんかん学会との共催事業

- 1). 期間 : 10月 1日～31日
- 2). キャンペーン・カラー「フレンドリー・パープル（赤紫色）」の周知
- 3). 「てんかんに関する宣言」の周知（※英語版も関係各所に配布）
- 4). 2015年に世界保健総会（WHO総会）以降に決議されたてんかん対策の内容を周知。
- 5). キャンペーン・ポスター（A2版）の全国配布、啓発資材（ポケットティッシュ、など）の作成・配布
- 6). オリジナルクリアホルダーの全国頒布、あかりちゃんピンバッヂ第二弾の寄附者への配布
- 7). ラグビートップリーグ土佐誠選手（三菱重工相模原ダイナボアーズ）からのメッセージ配信
※てんかんのある当事者として、全国の仲間にエールを送りました。
- 8). 中央キャンペーンの実施
 - ①開催日 : 10月 1日(金)～31日(日) *期間中数日間
 - ②開催地 : JR大塚駅頭、福祉財団ビル「三角ひろば」
 - ③参加者総数 : 各日約100人が来場／記念撮影コーナー・SNS投稿、ポップコーン・綿あめや・焼き芋の提供、臨時個別相談対応、ボランティア参加20人
※特設啓発サイト「100通りのジンセイ。#テンカン ~てんかんをもっと身近に。~」
<http://100stylesof.life/>
 - ④YouTubeチャンネルから「当事者Voice」（動画）を配信
- 9). 全国大会における中央集会（記念式典）の開催
 - ①開催日 : 10月23日(土) 13時30分～14時20分
 - ②開催地 : YouTube協会チャンネルから配信、③参加者総数 : 512人、④林修一郎厚生労働省精神・障害保健課長臨席
- 10). 木村太郎記念賞、功労賞の贈呈
 - ①木村太郎記念賞 : 丹羽真一（福島県立医科大学会津医療センター特任教授、他）
 - ②功労賞 : 千葉禎子（故人／岩手県）、菅るみ子、森田浩之（以上、福島県）、吉川記念病院（山形県）、三重大学（三重県）、岩宮冬樹（故人／兵庫県）
- 11). メディアセミナーの実施
 - ①開催日 : 10月28日(木) 13時00分～15時00分
 - ②開催地 : オンライン開催、③参加者総数 : 39人、④WHOのてんかん診療行動計画、新型コロナウイルスとてんかんへの影響そしてコロナ後に向けて、他
- 12). 市民公開講座の実施
 - ①開催日 : 10月24日(日) 10時00分～12時00分
 - ②開催地 : オンライン開催、③参加者総数 : 134人、④新型コロナウイルス対策とてんかん、安心して働くために、てんかん講談、他
- 13). 全国協賛事業・街頭活動の実施
のぼり旗の活用、署名活動、などを全国各地で展開・アピール
- 14). 会員獲得強化運動の実施
- 15). 全国統一要望活動の実施
 - ①てんかんの地域診療体制の整備（拠点機関の設置、地域医療計画へのてんかん医療の位置づけ）
 - ②運賃減額制度の対象者拡大（精神保健福祉手帳のサービス拡充）
- 16). 後援・協賛団体・機関
 - ①後援 : 内閣府、厚生労働省、文部科学省、日本てんかん学会、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国社会福祉協議会、高齢・障害・求職者雇用支援機構、福祉医療機構、日本赤十字社、日本弁護士会連合会、日本看護協会、日本薬剤師協会、日本製薬工業協会、読売新聞社等報道各社、他。（全26機関・団体）
 - ②協賛 : てんかん治療研究振興財団、全国てんかんセンター協議会、全国心身障害児福祉財団、全国病弱・障害児の教育推進連合会、日本障害者協議会、全国精神障害者団体連合会、全国精神保健福祉会連合会、全国LD親の会、全国筋無力症友の会、他障害者・患者団体等。（全85機関・団体）

マスコミ等との連携

- 1). 新型コロナウィルス感染予防とてんかん治療を継続するために「あかりちゃんの12の約束」配信
- 2). 自動車運転に関する適切な情報提供
- 3). 自然災害に際する各地・被災地への適切な情報提供、感染症とてんかんに関する情報提供
- 4). 正しい知識の普及、当事者とその家族による理解促進
 - ①企業内研修への当事者とその家族の派遣（体験発表） ②SNSを活用した当事者の声の発信
- 5). マスメディアと連携した取り組みの実施
 - ①NHK・ネットワーク報道部「薬がないと命が…」医薬品不足で苦しむ患者・家族は
 - a. 放送日 : 1月14日(水) 11時40分～
 - b. 出演 : 中川栄二理事他、c. 医薬品供給不足問題の現状についてさまざまな関係者がコメント、d. 専用サイトからてんかん情報配信

※NHKとの連携規格

②読売新聞・社会面「栃木6児死亡10年」

a.掲載：4月19日(月)、b.てんかん車事故横ばい、c.事故別の背景を検証する必要性 ※読売新聞社会部と連携

③メディアセミナーの実施【再掲】 ※日本てんかん学会との共催事業

a.実施日：10月28日(木)13時00分～15時00分

b.開催地：オンライン開催

c.参加者：39人

d.内 容：・開会・オリエンテーション

・情報提供①「WHOのてんかん診療行動計画」

・情報提供②「新型コロナウイルスとてんかんへの影響そしてコロナ後に向けて」

・指定発言「てんかんとともに生きる」・質疑応答、閉会

④記者会に対する定期的な情報提供を実施

a.時 期：2021年度年間を通じて

b.内 容：厚生労働記者会を中心に、労政記者クラブ、文部科学記者会などに、てんかんの最新情報、協会の活動、時事ネタに関する考え方、などをリリース。

⑤啓発動画の配信

a.時 期：2021年度年間を通じて

b.内 容：啓発動画全6本（あかりちゃんCM編、あかりちゃんと晴夫先生の会話編、「ぼくにもできるよ！」絵本編、見てわかる数字編、街頭インタビュー編、発作対応How To編）を、YouTubeから全国に配信。

※あかりちゃんのLINEスタンプを配信などを継続し、全国に支援の輪を広げた。

⑥厚生労働省「インフルエンザ予防啓発」で公式キャラクターとあかりちゃんのコラボ活動を継続

a.時 期：11月～3月

b.内 容：「マメゾウくん・アズキちゃん」とあかりちゃんのコラボレーションポスターを全国配信

⑦「寄付月間～Giving December」全国キャンペーンへの参画

a.時 期：12月1日～31日

b.内 容：賛同パートナーとして登録、あかりちゃんがマスコットアンバサダーに就任

5). 記事、放送内容、企業への働きかけと情報提供

①法律審議、交通事故報道、テレビ番組などへの情報提供・声明発表

②不適正内容への疑義照会

③企業活動との連携：a.丸紅(シニア人材活用活動事業の事例紹介)、b.トヨタ(システム開発でてんかん研究)、c.フレーベル館(おいで！アラスカの全国配布事業に協賛メッセージ)、d.GAテクノロジーズ(パラアスリート藤野遼さん応援)

迅速で適切な情報の提供と機能の充実

1. 「JEA通信」の発行

1). 毎月発行（メールおよび印刷物として全国の関係者に配信）

2). 本部・支部間連絡リスト renraku-mailによる情報提供

3). FAX. 通信も隨時発行

4). 支部メーリングリスト jeamlでの意見交流

2. ホームページ(インターネット)をリニューアル

1). Home Page <https://www.jea-net.jp> の更新／年間アクセス数1,083,414HIT(トップページ)

2). 全支部発行の会報を、会員専用ページから配信

3). NAMIKIDS(こどもとほごしゃのためのてんかんを知るサイト)

①開設：専用サイト(<https://e-nami.or.jp/namikids/>)を運営中

②内 容：てんかんアニメ教室、てんかんクイズ、お楽しみダウンロード、他

4). 啓発動画の配信 【再掲】

①全6種類の動画を作成し、YouTubeやFacebookを通じて配信

②あかりちゃんをデザインしたLINEスタンプを頒布

③インスタグラムを活用しあかりちゃんを通じた啓発配信 ★

5). オンラインでの入会申込みが増加(入会者78名／入会者全体の62%)

6). インターネットを活用したシステムの検討を実施

7). IT・情報活用委員会の実施

権利擁護活動

1). 医薬品供給調整による自立支援医療制度利用者への相談対応

2). 新型コロナウイルス感染症状に係るワクチン接種等に関する情報提供

3). 新規抗てんかん薬の学校での使用に向けた関係機関との情報交換

4). ソーシャルハートフルユニオンなどの社会資源と連携して労働トラブルの解決を支援

5). 全国各地から寄せられたSOSに隨時対応

「第44回てんかん基礎講座」の開催

※エーザイ・ユーシーピージャパン、他協賛事業

- 事業企画委員会の実施

1. 7月開講

- 日時：7月25日(日)～31日(土)
- 会場：オンライン開講
- 受講者数：707人

2. 8月開講

- 日時：8月8日(日)～14日(土)
- 会場：オンライン開講
- 受講者数：423人

3. テーマと講師

- てんかんとはどういう病気か／神一敬（東北大学）
- てんかん発作の介助／石原己緒光、青柳政彦（静岡てんかん・神経医療センター）
- てんかんの治療1－薬物療法／重藤寛史（九州大学）
- てんかんの治療2－外科療法／三國信啓（札幌医科大学）
- てんかんに合併する精神科的障害／吉岡伸一（鳥取大学）
- てんかんと発達障害・高次脳機能障害／林雅晴（淑徳大学）
- てんかんと学校生活／永井利三郎（桃山学院教育大学）
- 自動車運転と社会生活／久保田英幹（日本橋神経クリニック）

4. その他のプログラム

- 「受講ポイント」制度の実施
- 開講式、閉講式
- 本人および家族からのアピール
- 受講証の発行
- 抄録集の作成・頒布
- アーカイブ配信の準備

各種研修会の開催

- 本部・支部において主催、共催、後援、協賛、協力のさまざまな形で実施
- 内容は、相談活動、社会福祉事業の立ち上げ、支部運営など、さまざまである

支部におけるさまざまな講座の開催

1. 毎月「波」誌上にて告知・報告

2. 協会ホームページでも周知

3. 市民公開講座の開催

※ユーシーピージャパン協賛事業

(※来年度第49回全国大会のプレ大会の位置づけ)

- 日時：10月吉日(日) 14時00分～16時00分

- 会場：那覇市内

- メインテーマ：「てんかん：最新の話題～患者さんの笑顔のために～」

- 内容：講演1「小児てんかんの診断と治療」、講演2「成人てんかん患者さんに対する治療のポイント」、
※新型コロナウイルス感染拡大により計画を中止した

II. てんかんのある人とその家族に対する相談及び指導等の支援事業

てんかんに関する相談および支援

※JKA補助事業

- 電話相談員による電話相談・来所相談(本部では毎週3回／年間電話1,217件)
- 法に則った自動車運転の適切な指導
- 台風、水害、平成28年熊本地震、東日本大震災などの被災者への相談支援
- 支部・ブロックにおける相談活動の充実
- ピアソポーターの育成、ペアレントメンター（家族同士の支援活動）への取り組み
- 相談支援専門機関・団体との連携を検討
- 静岡てんかん・神経医療センターの「てんかんホットライン」との連携
- 「てんかん診療ネットワーク（ECN-Japan）」の活用
- 日本てんかん学会・てんかん専門医との連携を推進
- 「ぜんちのあんしん保険」の推奨
- 社会保険労務士による「年金教室」開催との連携
- 会員サービス・相談支援委員会と相談員ミーティングの実施

地域における福祉保健・医療の向上を目的とした活動

- てんかんを正しく理解する取り組み
- 権利擁護活動の充実／ボランティアの育成、イエローリボンバッヂ・リストバンドの普及活動
- 患者申し出療法と高額療養費制度等について情報提供
- 各種社会福祉事業の立ち上げ・運営への取り組み(支部活動を中心に)
- 地域における療育活動を推進し活動のネットワークづくりを推進(学会・医師会と連携)
- てんかんのある人の自立生活プログラム

※東京都福祉保健財團助成事業(東京都支部実施分)

集団・個別療育指導活動

※国庫補助事業(全国財團経由)

- キャンプの実施(1支部で全1回実施した)
- 水泳教室やレクリエーション活動を各支部で行った

当事者グループ等の育成・自立・就労・社会参加への取り組み

- 1). 当事者支援委員会の実施
- 2). 支部活動での活性化、女性問題、次世代担い手育成、などへの取り組み
- 3). 各種交流集会などへの情報交換（オンライン）
- 4). メーリングリストによる情報・意見交換
- 5). MOSESワークブック翻訳版・改訂、子ども・家族版famoses学習プログラム翻訳版発行
- 6). お母さんのためのWeb交流会の試行 ★

見学・研修(当事者・家族・専門職・学生、など)への対応

- 1). 協会活動の紹介、参考文献・各種資料等の閲覧
- 2). てんかんに関する研修講師の派遣・紹介
- 3). 各種研修会を本部・支部において実施
- 4). ボランティア（研究者、専門職、マスコミ、一般市民など）による協力体制の拡充
- 5). 障害者や支援者の海外派遣事業への協力
- 6). 当事者の渡航、留学、来日などに対する援助

台風、風水害、大規模火災、地震、東日本大震災等への対応・支援

- 1). 被災者への情報提供・相談支援
- 2). 災害対応ガイドのインターネット配信
- 3). 民間災害時障害者支援活動に参加し情報提供

支部・ブロック活動の充実・支援・活性化

- 1). 支部還付金の交付
- 2). キャンプ助成金の交付
- 3). ブロック委員会の開催
①オンライン、Eメールなどを活用しての情報交換を実施
- 4). 「全国支部代表者研修会」（てんかん運動リーダーセミナー）の開催
日時：11月20日（土）13時～17時 会場：オンライン開催 参加者：76人
内容：挨拶、オンライン事業実施の基本知識、支部機関紙を安定して発行する、新型コロナウイルス感染症とてんかんの最新情報、福島大会の御礼と沖縄大会へのお誘い、質疑応答
- 5). 「ブロック会議」、「ブロック大会」の開催

《ブロック会議》

- | | | |
|---------------------|-------|---------|
| ① 北海道ブロック会議(全道世話人会) | 2月5日 | (オンライン) |
| ② 東北ブロック会議 | ※開催中止 | |
| ③ 関東 " | 2月5日 | (オンライン) |
| ④ 北越 " | ※開催中止 | |
| ⑤ 中部 " | 1月30日 | (オンライン) |
| ⑥ 近畿 " | 2月20日 | (オンライン) |
| ⑦ 中国 " | 2月6日 | (オンライン) |
| ⑧ 四国 " | ※開催中止 | |
| ⑨ 九州 " | 8月29日 | (オンライン) |

《ブロック大会》

- | | |
|------------|-------|
| ① 東北ブロック大会 | ※開催中止 |
| ② 北越 " | ※開催中止 |

- 6). アステラス・スターライトパートナー「ピアソポーター」養成研修への参加

全国各地で開催された初級・中級研修会に、各支部からも積極的に参加した。

- 7). 日本てんかん学会「地方会」との連携活動

オリジナル「おくすり手帳」の全国配布事業

- 1). 全36頁。基本情報、発作記録表、おくすりの記録欄、各種情報（医療、くすり、自動車運転、海外旅行、災害時対応、地域連携）制度の情報を収載。ヘルプマーク付きダグと透明専用カバー付録。
- 2). 2018～2019年度に宝くじの社会貢献広報事業にて作成した2種類を増刷し、全国の希望者に配布

III. てんかんに関する調査及び研究事業

一般就労におけるてんかん阻害要因の実情把握と克服に向けた啓発事業

- 1). 2019年度に福祉医療機構の助成事業で取りまとめたリーフレット「てんかんのある人も事業者も安心して働くために」を増刷して、支援事業者等に配布

各種調査・研究事業の実施と協力

- 1). 地域での支えあいに関する研究検討委員会（全社協・障連協）に参画
- 2). 治験・臨床研究参画モデル事業、診療情報提供患者・家族調査、妊産婦診療ガイドづくり、他に協力
- 3). 行政・関係機関・団体や大学関係者の調査研究に随時協力

IV. 情報誌等の出版物の刊行及び取扱い事業

月刊「波」の発行

- 1). 毎月6,500部発行(通巻620号～631号)／B5版・本文24頁
- 2). 電子書籍版の専用サイト開設
- 3). 「波」を読もうチラシの作成・配布
- 4). 編集委員会の開催(毎月)
- 5). 病院の待合室に「波」をおいてもらおう運動の検討・準備
- 6). 会員向けオンライン配信(法人ホームページ上でフルカラー配信)

支部機関誌紙の発行・交流

- 1). 各支部の特徴を生かした誌面作りで年間を通じて発行
- 2). 協会ホームページ(会員ページ)に全紙を収載・配信【再掲】

小冊子・ビデオの作成・広報

- 1). I E NEWS日本語版(季刊)発行／B5版・本文20頁、協会ホームページからバックナンバー配信
- 2). オリジナル「おくすり手帳」の発行・配布【再掲】
- 3). 既刊ビデオ・DVDのインターネット配信・頒布

各種パンフレット等の活用・作成

- 1). 協会活動広報PRビデオの活用
- 2). コミュニケーション・ツール「患者さんの生活の質を高めるために」(付録／てんかん治療に関する質問票)を全国へ配布(A5版・本文8頁十質問票2頁)
- 3). 「緊急カード」増刷分の周知・配布
- 4). てんかんを正しく知ってもらうための各種啓発資材の作成・配布
- 5). 「災害対応ガイドブック」「高齢者てんかん」「安心して働くために」の増刷・配布
- 6). てんかん学会会員の医療機関等に対しポスターを配布(各A2版・全7種類)
①てんかん運動PR(小児)、②てんかん運動(成人)、③読むてんかん運動、④改正道路交通法の紹介、
⑤精神保健福祉手帳制度紹介、⑥自立支援医療費制度紹介、⑦百分の一(てんかん月間)
- 7). ホームページ(HP)での協会資料のダウンロードを実施

※日本てんかん学会協力事業

てんかん関連書籍の頒布

- 1). 支部活動と連携した書籍紹介・頒布
- 2). 関連優良図書の受託販売
- 3). 出版社と連携した書籍の発刊
①クリエイツかもがわ、NHK出版、少年写真新聞社、アート出版、診断と治療社、などが発行するてんかん関連書籍の受託頒布、②抗てんかん薬ポケットブック(第7版)に向けた企画準備
- 4). 関係団体事業や関連学会会場での協会ブースの設営と出張販売

V. 国内外の関連団体との連携及び交流

関係機関・団体との連携

1. 関係団体への加盟

- 1). 國際てんかん協会(I BE)
- 2). 全国てんかんセンター協議会(JEPICA)
- 3). 全国心身障害児福祉財団(全国財団)
- 4). 全国社会福祉協議会(全社協)・障害関係団体連絡協議会(障連協)
- 5). 全国病弱・障害児の教育推進連合会(病障連)
- 6). 日本障害者協議会(JD)

2. 関係する学会との連携

- 1). 日本てんかん学会
- 2). 日本てんかん外科学会
- 3). 日本小児神経学会
- 4). 日本精神神経学会
- 5). 日本神経学会
- 6). 日本脳神経外科学会
- 7). 日本発達障害学会
- 8). 日本精神科救急学会
- 9). その他、必要に応じて関係する学会と連携をした

3. 関係する団体等との連携

- 1). 日本障害フォーラム(JDF)

- 2). 日本障害者リハビリテーション協会
- 3). 全日本手をつなぐ育成会連合会
- 4). 日本発達障害連盟
- 5). 日本発達障害ネットワーク(J D D ネット)
- 6). 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
- 7). 全国精神障害者就労支援事業所連合会(旧全国職親会)
- 8). 日本難病・疾病団体協議会(J P A)
- 9). 認知症の人と家族の会
- 10). ヘルスケア関連団体ワークショップ
- 11). J-PALS・患者支援団体サミット
- 12). 日本製薬工業協会・患者会連携チーム
- 13). 米国研究製薬工業協会・患者団体支援プログラム
- 14). てんかん治療研究振興財団
- 15). ドラベ症候群患者家族会
- 16). ウエスト症候群患者家族会
- 17). Purple CODE
- 18). HAND STAMP ART PROJECT
- 19). 東京都神経科学総合研究所(東京都医学研究機構)
- 20). その他、必要に応じて関係する団体等と連携をした

4. 関係するてんかん機関・病院等との連携

- 1). 国立精神・神経医療研究センター(病院・精神保健研究所)
- 2). 静岡てんかん・神経医療センター
- 3). 西新潟中央病院てんかんセンター
- 4). 山形病院てんかんセンター
- 5). 宇多野病院
- 6). 東京女子医科大学
- 7). むさしの国分寺クリニック
- 8). てんかん専門病院べーてる
- 9). 日本橋神経クリニック、その他の医療機関

学会・協会合同会議の開催

- 1). 第23回・第24回会議
 - ①日 時：7月2日(金)19時00分～20時30分、3月26日(金)20時00分～21時30分
 - ②会 場：Web会議(Zoom)
 - ③出席者：(学会)4人、10人(協会)4人、5人
- 2). 内 容：世界てんかんの日、てんかん月間、WHO対応、国庫予算事業、手帳等の認定基準、自動車運転のあり方、組織・事業の連携、今後の協議テーマ、他

国際活動の実施

- 1). 国際てんかん協会(IBE)日本支部としての活動
- 2). 第13回アジア・オセアニアてんかん学会議(AOEC2020)への参加
 - ①人数：5名の役員が公式参加
 - ②開催地・期間：オンライン開催(福岡)・6月10日(木)～13日(日)
 - ③内容：国際てんかん協会(IBE)総会への出席、他
 - ④協会会員：シンポジウムで挨拶、進行を担う。当事者発表も実施。Golden Light Awardを受賞。
- 3). IE NEWS日本語版の情報配信(再掲)
- 4). アジア近隣諸国(韓国、台湾、など)の関係機関・団体との交流・協力支援
- 5). 山内俊雄国際基金の維持(アジア・オセアニア地域との交流目的が中心)
- 6). 世界てんかんの日(IED)記念事業への取り組み(再掲)
- 7). 国際委員会の実施
- 8). 東京パラリンピック2020のパラバドミントン(女子シングルス)に会員が出場・応援 ★ ※JKA補助事業

※山内俊雄監事提唱事業

専門職種に対するスキルアッププロジェクトの実施

※ユーシーピージャパン協賛事業

- 1). 看護学会でランチョンセミナーを開催
※コロナ禍から中止

VI. てんかんと専門医療に関する書籍等の普及

「MOSESおよびfaMOSES翻訳・出版事業」の実施

※日本てんかん学会との共催事業

- 1). 医療機関等で実施する研修会からの情報収集
- 2). 協会版研修会実施に向けた検討
- 3). トレーナーズ教本の改訂版の普及
- 4). 専用サイトの充実 5). 子どもと家族を対象とした学習プログラムの法人内実施を検討

「てんかんライブラリー」の拡充

- 1). 関連する図書・資料の整備・充実 2). 国内外の最新情報の確保・提供

VII. てんかんに関する諸制度の推進

意見表明および要望活動

1. 施策推進・意見表明

- 1). 基幹施設（てんかんセンター）の開設・整備の促進
- 2). 専門医・専門医療体制の整備・充実
- 3). 障害者総合支援法の見直しに向けた意見表明
- 4). 国連・障害者権利条約の批准による国内法制度の評価とパラレルレポート
- 5). 障害者差別解消法と障害者虐待防止法の施行に伴う社会整備
- 6). 所得保障制度・障害年金制度の見直し（診断書様式や診断基準等の統一）
- 7). 精神障害者保健福祉手帳のサービス拡大と重複取得に関する改善要望活動
- 8). 就業支援施策の拡充
- 9). 難病医療費助成と小児慢性特定疾病医療費助成の対象拡大による難治てんかんの対象化
- 10). 学校教育施策
- 11). 生活困窮者支援法の施行とマイナンバー制の導入状況を注視
- 12). その他

2. 請願署名活動・全国要望行動の実施

- 1). 請願署名活動の実施
 - ①10項目に再構成した要望書で実施（署名用紙33,600枚）
 - ②署名総数：70,249筆、募金総額：701,535円
 - ③請願提出：紹介議員200名
 - ④てんかんのある人の医療と福祉の向上を求める会議」（※コロナ禍により中止）
- 2). 前回までに、衆参両院にて採択された全項目の具体的実現に向けた要望行動を実施
- 3). 衆議院・参議院両院において、啓発・医療・福祉・労働の4項目が採択（内閣送付）
- 4). 市区町村への要望活動の全国展開に向けた準備

3. 制度見直しへの意見・対応

- 1). 議員・議会への働きかけ
 - ①政府与党「てんかん対策推進プロジェクトチーム」のヒアリング等に参加
 - ②各主要政党の厚生労働および障がい者政策関連プロジェクトチーム
 - ③国連障害者の権利条約推進議員連盟
 - ④国会議員全員への情報提供、等
 - ⑤地方議員・議会
- 2). 各種委員会・研究会等の傍聴と意見提出
 - ①福祉制度
 - a. 障害者政策委員会（内閣府）
 - b. 社会保障審議会・障害者部会
 - c. 障害者総合支援法対象疾患検討会
 - ②医療・医薬品
 - a. 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議
 - b. 厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会
 - c. 社会保障審議会児童部会小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会
 - ③労働政策
 - a. 労働政策審議会・障害者雇用分科会
- 3). 施策推進委員会の開催／各種法制度の見直し時に意見の提出を行った。
- 4). 関係団体等の各種集会に参加し、関係機関に対する要望書を提出した。
- 5). 厚生労働省精神・障害保健課内にてんかんチームが初めて発足し、連携を図った。

創薬ボランティア活動の実施

- 1). 製薬企業との情報交換を行い、「波」誌上等で最新情報を提供
- 2). 関連学会と連携して、抗てんかん薬・開発治験促進の働きかけ

- 3). 難治てんかんの治療に用いられる治療法に関する要望活動、等(※エピディオレックスの治験推進、含)
- 4). 抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)の製薬企業等への周知活動

関連法制度改正に伴う諸制度の改革・改善への取り組み

- 1). 障害者総合支援法見直しに向けて「医療的ケア児」への支援強化を要望
- 2). 改正障害者雇用促進法施行に向けた合理的配慮のあり方に意見表明
- 3). 障害年金認定基準と障害者手帳判定基準の不適切事例について厚生労働省と協議
- 4). 発達障害者支援法の改正に伴う、てんかんに関する情報提供
- 5). 診療報酬改訂およびかかりつけ薬局制度に関する情報提供
- 6). 精神保健福祉手帳・主要サービスの全国自治体一覧を作成要望(主管課長会議で継続中)。また、国土交通省と公共交通機関の運賃割引について地方交通事業者一覧を作成し、各地で働きかけを継続した。
- 7). 各都道府県政令市の地域医療計画にてんかん医療を明示することと、地方公共交通事業者に対して運賃減額対象者の拡大することについて、全国統一要望行動を行った。
- 8). 学校現場でのてんかんのある子どもへの対応指針の取りまとめに向けた意見交換を行政関係者と実施
- 9). 救急搬送時の既往症情報提供に向けた効果的なしくみ作りに向けた意見交換を実施
- 10). てんかんの基幹相談機能のあり方について検討

VIII. その他波の会の目的を達成するために必要な事業

各種会議の開催

- 1). 総会(第44回)

日時：6月6日(日) 11時00分～12時00分 会場：日本てんかん協会「本部事務局」
内容：2020年度事業報告書・会計報告書、2021年度事業計画書・予算書、役員選任(改選)
- 2). 理事会(第242回～第248回) (※書面またはオンライン開催)
 ①5月7日、②6月6日、③7月11日、④9月12日、⑤10月24日、⑥1月29日、⑦3月20日
- 3). 業務執行理事会(理事会に併設開催)

委員会活動 (*常設の委員会のみ) 【再掲】

- 1). 「波」編集委員会
 - 2). 当事者支援委員会
 - 3). 国際委員会
 - 4). IT・情報活用委員会
 - 5). 事業企画委員会
 - 6). 施策推進委員会
 - 7). 会員サービス・相談支援委員会
 - 8). ブロック委員会
- ※次の委員会は2023年度までの事務委員会
- 9). 50周年事業委員会

第48回全国大会(福島大会／復興大会)の開催

※製薬企業複数社等協賛事業

- 1). 日時：10月23日(土)13時00分～17時30分
- 2). 会場：YouTube協会チャンネルから配信
- 3). テーマ：「笑顔あふれる未来へ 伝えよう 復興のこと、てんかんのこと」
- 4). 内容：開会式、各賞表彰、震災復興10年(協会からの提言、追悼、現地は今-動画上映-、地元の取り組み、政府の取り組み、特別講演)、特別メッセージ、閉会式
- 4). 参加者数：512人

法人の管理

- 1). 総会、理事会、業務執行理事会の開催
- 2). 役員選任と法人登記
- 3). 会員管理
- 4). 協会諸規程・規則・内規等の整備
- 5). 職員の人事・労務管理(※事務局会議等の開催)
- 6). 各種表彰等の推薦事務手続き
- 7). 内閣府からの指導への対応
- 8). 厚生労働省各種調査、などへの対応
- 9). 日本郵便低料第三種郵便物指導、などへの対応

財務・会計業務

- 1). 一般会計および特別会計の適正処理
- 2). 財政安定化に向けた、各種支援(遺贈、外貨寄付、金券類・有価物の取り扱い、他)のモデル活動
- 3). 中長期の財務計画の策定
- 4). 公認会計士による公益法人会計処理の指導
- 5). 新公益法人会計基準の完全適応化
- 6). 会費納入制度の新システム導入に向けた検討開始
- 7). 固定費用の適性評価検討
- 8). 消費税インボイス制度への対応

第2号議案

2021(令和3)年度会計報告書概要(2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 本法人の会計は、一般会計と4つの特別会計（出版部会計、災害支援会計、JKA補助事業会計、支部会計）により構成しています。本法人は、全国単一組織のため、支部活動を含むすべての事業を公益事業として、法人会計に総括をして表示します（公益事業支出の割合は、99.0%です）。法人の財務状況は、公益法人会計基準に則り、①正味財産増減計算書(明細)、②貸借対照表、③財産目録、以上3つの財務諸表に注記事項を加えて表記しています。

しかし、総会等での公表に際しては、前記の財務諸表①～③に加え、一般会員にとって馴染み深い④収支計算報告書も、参考資料として表示します。

2. 今年度は、法人全体の総収入額が約12,749万円、総支出額が約8,174万円です。これにより、次期繰越金額は約4,575万円となります。

会計別の収支を見ますと、一般会計で約44万円、出版会計で26万円の収入超過となりましたが、災害支援会計が48万円、支部会計が約97万円の支出超過となり、これら合計額(約75万円)を今期首に繰り越された額から減算しました。

この支部会計の支出超過については、前年度に引き続き各支部が保有する資金をより有効に活用し、必要な事業に積極的に取り組み内部留保を減らした結果であり、公益社団法人の本来の目的に叶った取り組みによるものです。このことは、法人全体として次年度の活動に対して、約4,575万円の資金を残していることにも表れています。

同様に災害支援会計については、新型コロナウィルス感染症対策や各地で発生する災害（水害・地震等）に際して、情報提供等の活動を積極的に行うことで生じた費用です。

なお、今年度は昨年度までに350万円に減少していた運動推進資産を800万円に戻しました。これにより今期末における法人全体の正味財産額は約6,375万円であり、この中には、基本財産1,000万円、情報誌刊行事業資産374万、運動推進資産800万円を含みます。

●公益社団法人日本てんかん協会●
正味財産増減計算書
 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

〔単位:円〕

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	201	609	△ 408
運動推進資産運用益	36	84	△ 48
受取入会金	133,000	162,000	△ 29,000
受取会費	24,408,000	25,691,500	△ 1,283,500
事業収益	12,485,388	5,228,078	7,257,310
受取補助金等	13,922,578	14,774,183	△ 851,605
受取負担金	1,264,609	655,994	608,615
受取寄附金	10,860,180	9,303,223	1,556,957
受取協賛金	13,819,581	17,536,480	△ 3,716,899
雑収益	703,389	655,920	47,469
経常収益計	77,596,962	74,008,071	3,588,891
(2) 経常費用			
事業費	73,158,615	76,672,770	△ 3,514,155
管理費	690,860	813,111	△ 122,251
経常費用計	73,849,475	77,485,881	△ 3,636,406
評価損益等調整前当期経常増減額	3,747,487	△ 3,477,810	7,225,297
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,747,487	△ 3,477,810	7,225,297
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,747,487	△ 3,477,810	7,225,297
一般正味財産期首残高	60,003,974	63,481,784	△ 3,477,810
一般正味財産期末残高	63,751,461	60,003,974	3,747,487
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	63,751,461	60,003,974	3,747,487

●公益社団法人日本てんかん協会●

2021年度正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	てんかんのある人及びその家族の医療と福祉の増進		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	201	0	201
基本財産受取利息	201		201
運動推進資産運用益	36	0	36
運動推進資産受取利息	36		36
受取入会金	133,000	0	133,000
受取入会金	133,000		133,000
受取会費	23,717,140	690,860	24,408,000
普通会員受取会費	17,975,540	690,860	18,666,400
賛助会員受取会費	4,866,000		4,866,000
購読会員受取会費	875,600		875,600
事業収益	12,485,388	0	12,485,388
書籍販売事業	1,743,388		1,743,388
講座	10,742,000		10,742,000
療育相談事業	0		0
受取補助金等	13,922,578	0	13,922,578
地方公共団体	12,442,520		12,442,520
民間	1,480,058		1,480,058
受取負担金	1,264,609	0	1,264,609
講座等	709,450		709,450
その他	555,159		555,159
受取寄附金	10,860,180	0	10,860,180
受取協賛金	13,819,581	0	13,819,581
雑収益	703,389	0	703,389
受取利息	395		395
その他収益	702,994		702,994
経常収益計	76,906,102	690,860	77,596,962
(2) 経常費用			
事業費	73,158,615		73,158,615
役員報酬	1,069,200		1,069,200
給料手当	13,352,599		13,352,599
臨時雇賃金	6,914,533		6,914,533
仕入費	706,871		706,871
退職金掛金	736,170		736,170
法定福利費	2,634,229		2,634,229
福利厚生費	72,512		72,512
会議費	621,408		621,408
旅費交通費	3,523,319		3,523,319
通信運搬費	8,615,382		8,615,382
広告宣伝費	0		0
消耗品費	2,845,703		2,845,703
修繕費	0		0
印刷製本費	11,087,248		11,087,248
水道光熱費	139,580		139,580
賃借料	12,961,641		12,961,641
保険料	6,917		6,917
諸謝金	994,500		994,500
租税公課	252,429		252,429
負担金支出	1,294,284		1,294,284
委託費	1,458,924		1,458,924
雑費	3,871,166		3,871,166

管理費		690,860	690,860
役員報酬		10,800	10,800
給料手当		31,088	31,088
退職金掛金		2,166	2,166
法定福利費		5,432	5,432
福利厚生費		474	474
会議費		576,916	576,916
旅費交通費		2,582	2,582
通信運搬費		3,994	3,994
消耗品費		3,792	3,792
印刷製本費		11	11
水道光熱費		1,410	1,410
賃借料		41,819	41,819
保険料		70	70
諸謝金		5,500	5,500
租税公課		1,294	1,294
雑費		3,512	3,512
経常費用計	73,158,615	690,860	73,849,475
評価損益等調整前当期経常増減額	3,747,487	0	3,747,487
当期経常増減額	3,747,487	0	3,747,487
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	3,747,487	0	3,747,487
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,747,487	0	3,747,487
一般正味財産期首残高	60,003,974	0	60,003,974
一般正味財産期末残高	63,751,461	0	63,751,461
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	63,751,461	0	63,751,461

貸借対照表

令和4年3月31日現在

単位:円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	53,979,581	55,796,602	△ 1,817,021
未収金	2,454,130	4,698,562	△ 2,244,432
前払金	27,380	83,704	△ 56,324
立替金	64,984	64,984	0
仮払金	0	981	△ 981
商品	3,659,331	3,900,625	△ 241,294
貯蔵品	14,646	37,317	△ 22,671
流動資産合計	60,200,052	64,582,775	△ 4,382,723
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(信託銀行)	10,000,000	10,000,000	0
定期預金	0	0	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
情報誌刊行事業資産	3,747,487	0	3,747,487
特定資産合計	3,747,487	0	3,747,487
(3) その他の固定資産			
運動推進資産(定期預金)	8,000,000	3,500,000	4,500,000
その他の固定資産合計	8,000,000	3,500,000	4,500,000
固定資産合計	21,747,487	13,500,000	8,247,487
資産合計	81,947,539	78,082,775	3,864,764
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	561,226	658,367	△ 97,141
前受会費	16,244,640	15,919,400	325,240
前受金	1,022,000	1,142,000	△ 120,000
預り金	358,712	333,594	25,118
仮受金	9,500	25,440	△ 15,940
流動負債合計	18,196,078	18,078,801	117,277
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	18,196,078	18,078,801	117,277
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	63,751,461	60,003,974	3,747,487
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(情報誌刊行事業資産への充当額)	(3,747,487)	(0)	(3,747,487)
(うち運動推進資産への充当額)	(8,000,000)	(3,500,000)	(4,500,000)
正味財産合計	63,751,461	60,003,974	3,747,487
負債及び正味財産合計	81,947,539	78,082,775	3,864,764

●公益社団法人日本てんかん協会●
財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 普通預金	手元保管 みずほ銀行・早稲田支店 みずほ銀行・大塚支店 三菱東京UFJ銀行 高田馬場支店 りそな銀行・早稲田支店 りそな銀行・大塚出張所 巣鴨信用金庫・大塚支店 住友信託銀行 ゆうちょ銀行 その他銀行(盛岡信金、中国銀行) 振替貯金	運転資金として 〃	108,791 1,520,562 3,115,436 6,290,047 23,584,258 6,853,786 10,000,922 256,849 399,000 0 1,849,930 2,454,130 3,659,331 64,984 27,380 14,646 60,200,052
未収金 商品立替金 前払金 貯蔵品		「波」協賛金、他 書籍 MOSES基金 2022年度事業経費 切手	
流動資産合計			
(固定資産)			
基本財産 情報誌刊行事業資産 運動推進資産	定期預金 普通預金 定期預金 定期預金 定期預金	三井住友信託銀行・本店営業部 三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店 三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店 りそな銀行・大塚出張所 三井住友信託銀行・本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 情報誌の刊行及び取扱い事業のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用
固定資産合計			
資産合計			
(流動負債)	未払金 前受金 前受会費 預り金 仮受金	スター・ティア、他 情報誌「波」広告料 2022年度会費 給与源泉税、住民税、他 未確定振込金	561,226 1,022,000 16,244,640 358,712 9,500 18,196,078 18,196,078 63,751,461
流動負債合計			
負債合計			
正味財産			

●公益社団法人日本てんかん協会●
2021（令和3）年度会計報告書
注記事項

1. 継続事業の前提に関する注記

…… 該当なし。

2. 重要な会計方針

1). 棚卸資産の評価基準および評価方法 …… 最終仕入原価法を採用している。

2). 消費税の会計処理 …… 税込方式を採用している。

3. 会計方針の変更

…… 該当なし。

4. 公益目的保有財産の増減額および残高、財源等

…… 基本財産及び特定資産の増減及びその残高、財源等は、次のとおりである。

1). 基本財産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2021. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2022. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000
合 計	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

2). 情報誌の刊行及び取扱い事業資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2021. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2022. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
普通預金	0	3,747,487	0	3,747,487	3,747,487
合 計	0	3,747,487	0	3,747,487	3,747,487

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

3). てんかん運動推進資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2021. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2022. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
定期預金	3,500,000	7,893,792	3,393,792	8,000,000	8,000,000
合 計	3,500,000	7,893,792	3,393,792	8,000,000	8,000,000

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

5. 担保に供している資産

…… 該当なし。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

…… 該当なし。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

…… 該当なし。

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
…… 該当なし。

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益
…… 該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

……補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高 (2021.03.31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2022.03.31)	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
民間補助金	日本自転車振興会 (福) 全国心身障害児 福祉財団	0 0	1,411,258 60,000	1,411,258 60,000	0 0	記載なし 記載なし
地方自治体	地方自治体	0	12,442,520	12,442,520	0	記載なし
助成金						
民間助成金	ソウェルクラブ	0	8,800	8,800	0	記載なし
合 計		0	13,922,578	13,922,578	0	

11. 基金および代替基金の増減およびその残高

…… 該当なし。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

…… 該当なし。

13. 関連当事者との取引の内容

…… 該当なし。

14. キャッシュフロー計算書の資金の範囲および重要な非資金取引

…… キャッシュフロー計算書は、作成しておりません。

15. 重要な後発事象

…… 該当なし。

16. その他

…… 該当なし。

正味財産増減計算書
2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会
(単位:円)

一般会計

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
I. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用			
基本財産利息收入	1,000	201	
運動推進資産利息收入	1,000	0	201
特定資産運用			
特定資産利息收入		36	36
入会金			
正会員入会金	80,000	88,000	
賛助会員入会金	10,000	4,000	
購読会員入会金	10,000	19,000	
家族会員入会金	10,000	9,000	120,000
会費			
正会員会費収入	19,800,000	18,666,400	
賛助会員会費収入	6,030,000	4,866,000	24,408,000
購読会員会費	936,000	875,600	
事業収入			
社会啓発	6,400,000	10,742,000	
療育指導	6,000	0	
その他	280,000	0	10,742,000
補助金等収入			
民間補助金収入	400,000	60,000	
民間助成金	0	8,800	68,800
負担金収入			
調査研究	250,000	174,000	
その他	500,000	0	174,000
寄付金収入			
寄付金収入	3,062,000	7,213,760	
協賛金収入	20,840,000	13,819,581	
切手	0	310,207	21,343,548
雑収入			
受取利息	1,000	327	
雑収入	50,000	77,264	77,591
繰入金収入			
繰入金収入	74,000	0	0
合計	58,741,000		56,934,176
科目		決算	
(2) 経常費用			
社会啓発事業費			
給料手当	1,916,000	3,799,076	
臨時雇賃金	602,000	0	
退職金掛金	105,000	108,312	
法定福利費	230,000	811,305	
福利厚生費	10,000	9,600	
旅費交通費	1,128,000	284,170	
通信運搬費	2,600,000	2,452,831	
消耗品費	50,000	124,850	
印刷製本費	7,020,000	6,134,192	
賃借料	2,900,000	2,593,750	
諸謝金	570,000	400,000	
租税公課	0	0	
負担金支出	2,820,000	0	
委託費	993,000	1,018,924	
雑費	628,000	172,521	
予備費	300,000	0	17,909,531

療育指導事業費			
給料手当	2,880,000	1,683,532	
臨時雇賃金	817,000	12,240	
退職金掛金	80,000	98,388	
法定福利費	150,000	272,417	
福利厚生費	75,000	4,800	
旅費交通費	167,000	153,318	
通信運搬費	0	3,850	
印刷製本費	0	197	
賃借料	8,000	0	
諸謝金	11,000	0	
助成金支出	140,000	10,000	
委託費	8,656,000	7,910,400	
雜費	47,000	34,675	10,183,817
調査研究事業費			
給料手当	1,560,000	1,554,387	
臨時雇賃金	602,000	0	
退職金掛金	0	108,312	
法定福利費	0	264,612	
福利厚生費	0	3,200	
旅費交通費	386,000	153,799	
通信運搬費	0	310,289	
消耗品費	0	36,300	
負担金支出	100,000	20,023	
寄付金支出	58,000	57,208	
雜費	312,000	516,406	
予備費	2,000,000	0	3,024,536
その他の事業費			
給料手当	2,880,000	3,237,919	
臨時雇賃金	602,000	798,437	
退職金掛金	80,000	206,700	
法定福利費	150,000	748,133	
福利厚生費	75,000	8,000	
旅費交通費	3,081,000	1,039,079	
通信運搬費	40,000	152,439	
消耗品費	5,000	0	
印刷製本費	160,000	68,964	
賃借料	649,000	0	
諸謝金	0	50,000	
負担金支出	901,000	158,500	
委託費	0	440,000	
雜費	310,000	834,792	7,742,963
管理費			
役員報酬	1,080,000	1,080,000	
給料手当	3,120,000	3,108,773	
退職金掛金	510,000	216,624	
法定福利費	1,250,000	543,194	
福利厚生費	56,000	47,386	
会議費	2,775,000	576,916	
旅費交通費	850,000	258,164	
通信運搬費	406,000	399,374	
消耗品費	320,000	379,203	
印刷製本費	50,000	1,052	
光熱水料費	144,000	140,990	
賃借料	4,700,000	4,181,947	
火災保険料	8,000	6,987	
諸謝金	756,000	550,000	
租税公課	250,000	129,430	
負担金支出	100,000	0	
寄付金支出	30,000	0	
雜費	2,000	351,218	
予備費	191,000	0	11,971,258
雜損失	0	0	0
繰入金支出			
繰入金支出	1,243,000	1,159,293	1,159,293
合計	66,695,000		51,991,398
当期正味財産増加額			4,942,778
繰越正味財産期首残高			30,952,743
正味財産期末残高			35,895,521

●公益社団法人日本てんかん協会●

2021(令和3)年度一般会計報告

2021(令和3)年度収支計算書

(自2021年4月1日～至2022年3月31日)

当期収入総額 60,327,968 円

当期支出総額 59,885,190 円

当期差引残高 442,778 円

[収入の部]

科目		予算額	決算額	増減	備考
大科目	中科目	(円)	(円)	(円)	
基本財産運用	基本財産利息	1,000	201	-799	定期預金利息
	小計	1,000	201	-799	
特定資産運用	特定資産利息	1,000	36	-964	定期預金利息
	小計	1,000	36	-964	
入会金	正会員入会金	80,000	88,000	8,000	新入会者
	賛助会員入会金	10,000	4,000	-6,000	同上
	購読会員入会金	10,000	19,000	9,000	同上
	家族会員入会金	10,000	9,000	-1,000	同上
	小計	110,000	120,000	10,000	
会費	正会員会費	19,800,000	18,666,400	-1,133,600	個人会費
	賛助会員会費	6,030,000	4,866,000	-1,164,000	個人・団体会費
	購読会員会費	936,000	875,600	-60,400	個人・団体会費
	小計	26,766,000	24,408,000	-2,358,000	
事業収入	社会啓発	6,400,000	10,742,000	4,342,000	基礎講座受講料
	療育指導	6,000	0	-6,000	相談料
	その他	280,000	0	-280,000	
	小計	6,686,000	10,742,000	4,056,000	
補助金等	民間補助金収入	400,000	60,000	-340,000	療育研修(担い手育成) ※全国財団経由
	民間助成金	0	8,800	8,800	ソウェルクラブ
	小計	400,000	68,800	-331,200	
負担金収入	調査研究	250,000	174,000	-76,000	基礎講座宿泊費・懇親会費
	その他	500,000	0	-500,000	支部活動者会議宿泊費・懇親会費
	小計	750,000	174,000	-576,000	
寄付金	寄付金	3,062,000	7,213,760	4,151,760	個人、企業、団体、等
	協賛金	20,840,000	13,819,581	-7,020,419	協賛購読、協賛広告、事業協賛金
	切手	0	310,207	310,207	切手寄付
	小計	23,902,000	21,343,548	-2,558,452	
雑収入	受取利息	1,000	327	-673	各銀行口座
	雑収入	50,000	77,264	27,264	監修物等印税、他
	小計	51,000	77,591	26,591	
固定資産売却益	什器備品売却	0	0	0	
	投資有価証券売却	0	0	0	
	小計	0	0	0	
敷金・保証金戻	敷金戻り	0	0	0	
	保証金戻り	0	0	0	
	小計	0	0	0	
借入金	短期借入金	0	0	0	
	長期借入金	0	0	0	
	小計	0	0	0	
金銭信託・定期預金収入		0	3,393,792	3,393,792	運動推進資金
	特定預金取崩収入	0	0	0	
	繰入金収入	74,000	0	-74,000	
当期収入合計		58,741,000	60,327,968	1,586,968	
前期繰越収支差額		17,453,000	17,452,743	-257	
収入合計		76,194,000	77,780,711	1,586,711	

[支出の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
社会啓発事業費	給与手当	1,934,000	3,799,076	1,865,076	職員2名分
	臨時雇賃金	734,000	0	-734,000	非常勤職員1名分
	退職金掛金	105,000	108,312	3,312	職員2名分
	法定福利費	230,000	811,305	581,305	同上
	福利厚生費	10,000	9,600	-400	同上
	旅費交通費	441,000	284,170	-156,830	波編集、基礎講座、てんかん月間、等
	通信運搬費	2,633,000	2,452,831	-180,169	基礎講座案内書送付、等
	消耗品費	50,000	124,850	74,850	HP、基礎講座、てんかん月間、等
	印刷製本費	10,194,000	6,134,192	-4,059,808	波印刷費、てんかん月間、等
	賃借料	1,300,000	2,593,750	1,293,750	基礎講座会場費、てんかん月間、等
	諸謝金	560,000	400,000	-160,000	基礎講座講師、等
	租税公課	0	0	0	波印刷費
	負担金支出	110,000	0	-110,000	基礎講座宿泊費、懇親会費
	助成金支出	0	0	0	
	寄付金支出	0	0	0	
	委託費	1,950,000	1,018,924	-931,076	基礎講座、てんかん月間
	雑費	62,000	172,521	110,521	波編集、波編集会議、基礎講座経費、送金手数料
	予備費	50,000	0	-50,000	
小計		20,363,000	17,909,531	-2,453,469	
療育指導事業費	給与手当	2,900,000	1,683,532	-1,216,468	職員2名分
	臨時雇賃金	820,000	12,240	-807,760	相談員相当(1名)分
	退職金掛金	80,000	98,388	18,388	職員2名分
	法定福利費	150,000	272,417	122,417	同上
	福利厚生費	75,000	4,800	-70,200	同上
	旅費交通費	180,000	153,318	-26,682	相談員相当(1名)分、他
	通信運搬費	0	3,850	3,850	相談資料、他
	印刷製本費	0	197	197	famoses
	賃借料	10,000	0	-10,000	当事者活動
	助成金支出	60,000	10,000	-50,000	支部キャンプ
	委託費	8,500,000	7,910,400	-589,600	支部還付金
	雑費	44,000	34,675	-9,325	送金手数料
小計		12,819,000	10,183,817	-2,635,183	
調査研究事業費	給与手当	1,560,000	1,554,387	-5,613	職員1名分
	臨時雇賃金	734,000	0	-734,000	
	退職金掛金	0	108,312	108,312	職員1名分
	法定福利費		264,612	264,612	同上
	福利厚生費	0	3,200	3,200	同上
	旅費交通費	20,000	153,799	133,799	同上
	通信運搬費	10,000	310,289	300,289	IED
	消耗品費	0	36,300	36,300	IED
	印刷製本費	160,000	0	-160,000	
	諸謝金	200,000	0	-200,000	
	負担金支出	110,000	20,023	-89,977	IBE会費
	寄付金支出	55,000	57,208	2,208	IBE寄付
	委託費	50,000	0	-50,000	
	雑費	12,000	516,406	504,406	送金手数料、他
小計		3,066,000	3,024,536	-41,464	

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
その他事業費	給与手当	2,900,000	3,237,919	337,919	職員2名分
	臨時雇賃金	734,000	798,437	64,437	非常勤職員1名分
	退職金掛金	80,000	206,700	126,700	職員2名分
	法定福利費	150,000	748,133	598,133	同上
	福利厚生費	75,000	8,000	-67,000	同上
	旅費交通費	693,000	1,039,079	346,079	全国大会・委員会活動、他
	通信運搬費	650,000	152,439	-497,561	全国大会・署名用紙・案内送付
	消耗品費	255,000	0	-255,000	
	印刷製本費	1,010,000	68,964	-941,036	講演署名用紙、等
	賃借料	19,000	0	-19,000	
	諸謝金	500,000	50,000	-450,000	全国大会 講師謝金
	負担金支出	101,000	158,500	57,500	全国大会交付金・来賓経費、等
	委託費	0	440,000	440,000	
	雑費	595,000	834,792	239,792	ブロック会議、送金手数料
	予備費	30,000	0	-30,000	
小計		7,792,000	7,742,963	-49,037	
管理費	役員報酬	1,080,000	1,080,000	0	1名分
	給与手当	3,130,000	3,108,773	-21,227	職員1名分
	退職金掛金	510,000	216,624	-293,376	同上
	法定福利費	1,250,000	543,194	-706,806	同上
	福利厚生費	56,000	47,386	-8,614	同上
	会議費	194,000	576,916	382,916	総会、理事会
	旅費交通費	845,000	258,164	-586,836	役員、等
	通信運搬費	975,000	399,374	-575,626	切手、宅配便
	消耗品費	202,000	379,203	177,203	事務用品、紙、クリアファイル、HP修正等
	印刷製本費	375,000	1,052	-373,948	名刺、事務文書等
	水道光熱費	144,000	140,990	-3,010	電気料金、他
	賃借料	4,682,000	4,181,947	-500,053	家賃、リース料、他
	火災保険料	8,000	6,987	-1,013	什器備品対象分
	諸謝金	770,000	550,000	-220,000	監査料
固定資産取得	租税公課	200,000	129,430	-70,570	消費税
	負担金支出	100,000	0	-100,000	会員管理システム保守
	寄付金支出	30,000	0	-30,000	慶弔費
	雑費	2,000	351,218	349,218	送金手数料、他
	予備費	3,000	0	-3,000	
小計		14,556,000	11,971,258	-2,584,742	
借入金返済	什器備品購入	0	0	0	
	投資有価証券購入	0	0	0	
	小計	0	0	0	
特定資産支出	短期借入金返済	0	0	0	
	長期借入金返済	0	0	0	
	小計	0	0	0	
	特定資産支出	0	0	0	特定資産
	金銭信託・定期預金支出	0	7,893,792	7,893,792	定期預金
当期支出合計		58,596,000	59,885,190	1,289,190	
当期収支差額		145,000	442,778	297,778	
次期繰越収支差額		17,598,000	17,895,521	297,521	

一般会計・貸借対照表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位：円)

資産の部			負債及び正味財産の部			
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額	
流动資産	現金・預金	51,133,012	流动負債	未払金	558,883	
	未収金	2,308,775		前受金	1,022,000	
	立替金	24,942,925		前受会費	16,244,640	
	貯蔵品	14,646		預り金	42,696,194	
	前払金	27,380		仮受金	9,500	
	仮払金	0		流动負債合計		60,531,217
	流动資産合計	78,426,738				
固定資産	基本財産	10,000,000	負債合計			60,531,217
	運動推進資産	8,000,000		一般正味財産合計		35,895,521
	その他の固定資産	0		(内基本財産への充当額)		(10,000,000)
	有形固定資産	0		(内運動推進資産への充当額)		(8,000,000)
	無形固定資産	0		(当期正味財産増加額)		(4,942,778)
	固定資産合計	18,000,000		正味財産合計		35,895,521
				負債及び正味財産合計		96,426,738
資産合計		96,426,738				

一般会計・財産目録

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部			
I. 流動資産		I. 流動負債			
1. 現金預金		1. 未払金			
1)現金手許有高	108,791	1)退職金掛金	217,380		
2)郵便振替口座	1,409,033	2)その他	0		
3)普通預金		3)社会啓発事業	43,582		
みずほ・早稲田	1,520,562	4)調査研究事業	0		
みずほ・大塚	3,115,436	5)その他の事業	297,921	558,883	
三菱東京・高田馬場	3,884,375				
りそな・早稲田	23,584,258	2. 前受金	1,022,000	1,022,000	
りそな・大塚	6,853,786	3. 前受会費			
住友信託	256,849	1)正会員	12,406,640		
巣鴨信用金庫・大塚	10,000,922	2)賛助会員	3,194,000		
ゆうちょ	399,000	3)購読会員	644,000	16,244,640	
2. 未収金		3. 預り金			
1)補助金	1,411,258	1)住民税	184,000		
2)その他	39,780	2)所得税	28,045		
2)寄付金	857,737	3)保険料	146,667		
3. 立替金		4)地方機関	42,337,482	42,696,194	
1)出版部	24,877,941	4. 仮受金	9,500	9,500	
2)MOSES基金	64,984				
4. 貯蔵品		流動負債合計		60,531,217	
1)切手代金	14,646	負債合計		60,531,217	
5. 前払金					
1)suicaチャージ	1,724				
2)その他	25,656				
流動資産合計					
II. 固定資産		正味財産の部			
1. 基本財産		一般正味財産		35,895,521	
1)定期預金		(内基本財産への充当額)		(10,000,000)	
住友信託・東京営業部	14,000,000	4,000,000		(8,000,000)	
2. 運動推進資金		(内運動推進資産への充当額)		(4,942,778)	
1)定期預金		(当期正味財産増加額)			
住友信託銀行	106,208				
三菱東京・高田馬場	3,893,792				
4. その他の固定資産					
1)有形固定資産	0				
2)無形固定資産	0				
固定資産合計		正味財産合計		35,895,521	
資産合計		負債及び正味財産合計		96,426,738	

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

出版部会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
売上			
(地方) 地方機関	1,700,000	788,687	
(一般) 一般・個人・書店	3,564,000	1,649,153	2,437,840
雑収入			
受取利息	0	2	2
繰入金収入			
繰入金収入	0	0	0
合計	5,264,000		2,437,842
(2) 経常費用			
仕入費	2,000,000		706,871
印刷製本費	400,000		28
臨時雇賃金	0		20,400
旅費交通費	0		756
広告宣伝費	30,000		0
通信運搬費	10,000		44,740
消耗品費	10,000		0
賃借料	1,400,000		1,320,000
租税公課	120,000		85,470
雜費	10,000		1,313
回収不能額	10,000		1,235
合計	3,990,000		2,180,813
当期正味財産増加額			257,029
繰越正味財産期首残高			△ 20,423,219
正味財産期末残高			△ 20,166,190

●公益社団法人日本てんかん協会●

2021(令和3)年度出版部会計報告

2021(令和3)年度収支計算書

(自2021年4月1日～至2022年3月31日)

当期収入総額	2,437,842 円
当期支出総額	2,180,813 円
当期差引残高	257,029 円

[収入の部]

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
売上(一般)	2,664,000	1,649,153	-1,014,847	個人、機関、書店、等
売上(地方)	1,400,000	788,687	-611,313	支部
雑収入	0	2	2	受取利息
繰入金収入	0	0		
当期収入合計	4,064,000	2,437,842	-1,626,158	
前期繰越収支差額	-20,423,000	-20,423,219	-219	
収入合計	-16,359,000	-17,985,377	-1,626,377	

[支出の部]

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
仕入	2,000,000	706,871	-1,293,129	他出版社より買い取り
印刷製本費	400,000	28	-399,972	書籍増刷費
臨時雇賃金	0	20,400	20,400	1名分
旅費交通費	0	756	756	同上
広告宣伝費	30,000	0	-30,000	宣伝費
通信運搬費	10,000	44,740	34,740	発送料
消耗品費	10,000	0	-10,000	事務用品
賃借料	1,400,000	1,320,000	-80,000	倉庫、リース料
租税公課	120,000	85,470	-34,530	消費税
雑費	10,000	1,313	-8,687	送金手数料、他
回収不能額	10,000	1,235	-8,765	過年度分書籍代金
繰入金支出	74,000	0	-74,000	
当期支出合計	4,064,000	2,180,813	-1,883,187	
当期収支差額	0	257,029	257,029	
次期繰越収支差額	-20,423,000	-20,166,190	256,810	

出版部会計・貸借対照表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部			
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額	
流動資産			流動負債			
	現金・預金	909,408		未払金	24,880,284	
	未収金	145,355		仮受金		
	商品	3,659,331				
	前払金	0				
	流動資産合計	4,714,094		流動負債合計	24,880,284	
固定資産	その他の固定資産	0	負債合計		24,880,284	
	固定資産合計	0	一般正味財産		△ 20,166,190	
			(当期正味財産増加額)		(257,029)	
			正味財産合計		△ 20,166,190	
資産合計		4,714,094	負債及び正味財産合計		4,714,094	

出版部会計・財産目録

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部			
I. 流動資産			I. 流動負債			
1. 現金預金			1. 未払金			
1) 郵便振替口座	440,897		1) 一般会計	24,877,941		
2) 普通預金			2) その他	2,343	24,880,284	
東京三菱・高田馬場	468,511	909,408				
2. 未収金			流動負債合計			24,880,284
支部・個人	11,095					
書店	134,260	145,355	負債合計			24,880,284
3. 商品在庫						
協会在庫	3,659,331	3,659,331	正味財産の部			
流動資産合計		4,714,094	一般正味財産			△ 20,166,190
			(当期正味財産増加額)			(257,019)
II. 固定資産			正味財産合計			△ 20,166,190
1. その他の固定資産						
固定資産合計		0				
資産合計		4,714,094	負債及び正味財産合計			4,714,094

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

災害支援会計

(単位:円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収入			
受取利息	0	61	61
合計	0		61
(2) 経常費用			
臨時雇賃金	0		0
寄付金支出	0		0
旅費交通費	0		32,659
通信運搬費	0		930
印刷製本費	0		0
消耗品費	0		89,702
賃借料	0		0
諸謝金	0		0
委託費	0		0
雑費	0		360,539
合計	0		483,830
当期正味財産減少額			△ 483,769
繰越正味財産期首残高			6,168,417
正味財産期末残高			5,684,648

●公益社団法人日本てんかん協会●

2021(令和3)年度災害支援会計報告

2021(令和3)年度収支計算書

(自2021年4月1日～至2022年3月31日)

当期収入総額	61 円
当期支出総額	483,830 円
当期差引残高	-483,769 円

[収入の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
寄付金収入	災害支援金	0	0	0	
	小計	0	0	0	
雑収入	受取利息	0	61	61	銀行口座
	小計	0	61	61	
当期収入合計		0	61	61	
前期繰越収支差額		0	6,168,417	6,168,417	
収入合計		0	6,168,478	6,168,478	

[支出の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
災害支援事業	印刷製本費	0	0	0	
	旅費交通費	0	32,659	32,659	
	通信運搬費	0	930	930	
	消耗品費	0	89,702	89,702	
	賃借料	0	0	0	
	寄付金支出	0	0	0	
	委託金	0	0	0	
	雑費	0	360,539	360,539	
	当期支出合計	0	483,830	483,830	
当期収支差額		0	-483,769	-483,769	
次期繰越収支差額		0	5,684,648	5,684,648	

災害支援会計・貸借対照表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債及び正味財産の部			
大科目	中科目	金額		大科目	中科目	金額	
流動資産				流動負債			
	現金・預金	5,684,648					
	流動資産合計	5,684,648		流動負債合計			0
				負債合計			0
				一般正味財産合計			5,684,648
固定資産				(当期正味財産減少額)			(483,769)
	固定資産合計	0		正味財産合計			5,684,648
資産合計		5,684,648		負債及び正味財産合計			5,684,648

災害支援会計・財産目録

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
I. 流動資産				II. 固定資産			
I. 流動資産				II. 固定資産			
1. 現金預金							
1) 普通預金							
三菱東京・高田馬場	5,684,648	5,684,648					
流動資産合計			5,684,648	流動負債合計			0
				負債合計			0
				正味財産の部			
				一般正味財産			5,684,648
				(当期正味財産減少額)			(483,769)
固定資産合計		0		正味財産合計			5,684,648
資産合計		5,684,648		負債及び正味財産合計			5,684,648

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

JKA補助事業会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
補助金等収入			
民間助成金収入	2,357,000	1,411,258	1,411,258
雑収入	0	5	5
受取利息			
繰入金収入			
繰入金収入	787,000	1,159,293	1,159,293
合計	3,144,000		2,570,556
(2) 経常費用			
印刷製本費	486,000	129,360	129,360
臨時雇賃金	972,000	2,150,548	2,150,548
通信運搬費	0	0	0
賃借料	924,000	0	0
雑費	0	220	220
旅費交通費	762,000	290,428	290,428
合計	3,144,000		2,570,556
当期正味財産増加額			0
繰越正味財産期首残高			0
正味財産期末残高			0

●公益社団法人日本てんかん協会●

2021(令和3)JKA補助事業会計報告

2021(令和3)年度収支計算書

(自2021年4月1日～至2022年3月31日)

当期収入総額	2,570,556 円
当期支出総額	2,570,556 円
当期差引残高	0 円

[収入の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
補助金等収入	民間補助金収入	2,357,000	1,411,258	-945,742	
	小計	2,357,000	1,411,258	-945,742	
雑収入	受取利息	0	5	5	銀行口座
	小計	0	5	5	
繰入金収入	繰入金収入	787,000	1,159,293	372,293	
	小計	787,000	1,159,293	372,293	
	当期収入合計	3,144,000	2,570,556	-573,449	
	収入合計	3,144,000	2,570,556	-573,444	

[支出の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
療育指導事業	印刷製本費	486,000	129,360	-356,640	
	臨時雇賃金	972,000	2,150,548	1,178,548	
	賃貸料	924,000	0	-924,000	
	雑費	0	220	220	
	旅費交通費	762,000	290,428	-471,572	
	当期支出合計	3,144,000	2,570,556	-573,444	
	当期収支差額	0	0	0	
	次期繰越収支差額	0	0	0	

JKA補助事業会計 • 貸借対照表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額
流动資産			流动負債		
	流动資産合計	0	流动負債合計		0
			负债合計		0
			一般正味財産		0
固定資産			(当期正味財産増加額)		(0)
	固定資産合計	0	正味財産合計		0
			負債及び正味財産合計		0
資産合計		0			0

JKA補助事業会計 • 財産目録

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
I. 流動資産				I. 流動負債			
流动資産合計			0	流动負債合計			0
				负债合計			0
				正味財産の部			
				一般正味財産			0
				(当期正味財産増加額)			(0)
II. 固定資産			0	正味財産合計			0
固定資産合計			0	負債及び正味財産合計			0
資産合計			0				0

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

支部会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
本部還付金	8,500,000	7,910,400	7,910,400
本部助成金	60,000	10,000	10,000
入会金	127,000	13,000	13,000
事業収入			
書籍販売	402,000	94,235	94,235
補助金等収入			
地方公共団体	12,885,000	12,442,520	12,442,520
負担金収入			
社会啓発	3,507,000	709,450	
その他	0	381,159	1,090,609
寄付金収入			
寄付金収入	2,266,000	3,336,213	3,336,213
雑収入			
雑収入	588,000	625,730	625,730
繰入金収入			
繰入金収入	0	0	0
合計	28,335,000		25,522,707
(2) 経常費用			
仕入費	1,700,000		62,447
印刷製本費	6,821,000		4,753,466
賃金	2,901,000		3,932,908
会議費	1,510,000		621,408
旅費交通費	7,474,000		1,313,528
通信運搬費	5,568,000		5,254,923
諸謝金	0		0
消耗品費	2,475,000		2,219,440
賃借料	6,475,000		4,907,763
租税公課	0		18,800
負担金支出	2,734,000		1,078,576
雑費	4,638,000		2,327,999
合計	42,296,000		26,491,258
当期正味財産減少額			(968,551)
繰越正味財産期首残高			43,306,033
正味財産期末残高			42,337,482

●公益社団法人日本てんかん協会●

2021(令和3)年度支部会計報告

2021(令和3)年度収支計算書

(自2021年4月1日～至2022年3月31日)

当期収入総額 25,522,707 円

当期支出総額 26,491,258 円

当期差引残高 -968,551 円

[収入の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
本部還付金	-	8,500,000	7,910,400	-589,600	年1回
	小計	8,500,000	7,910,400	-589,600	
本部助成金	-	60,000	10,000	-50,000	キャンプ
	小計	60,000	10,000	-50,000	
入会金	-	127,000	13,000	-114,000	新入会者
	小計	127,000	13,000	-114,000	
事業収入	書籍販売	402,000	94,235	-307,765	書籍売上
	小計	402,000	94,235	-307,765	
補助金等	地方公共団体	12,885,000	12,442,520	-442,480	地方公共団体等
	小計	12,885,000	12,442,520	-442,480	
負担金収入	社会啓発	3,507,000	709,450	-2,797,550	講座、等
	その他	0	381,159	381,159	ブロック会議、大会、等
	小計	3,507,000	1,090,609	-2,416,391	
寄付金	寄付金	2,266,000	3,336,213	1,070,213	個人寄付金、他
	小計	2,266,000	3,336,213	1,070,213	
雑収入	雑収入	588,000	625,730	37,730	金融機関預け入れ利息、雑収入
	小計	588,000	625,730	37,730	
他会計繰入金		0	0	0	
当期収入合計		28,335,000	25,522,707	-2,812,293	
前期繰越収支差額		43,306,033	43,306,033	0	
収入合計		71,641,033	68,828,740	-2,812,293	

[支出の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (千円)	備考
仕 入		1,400,000	62,447	-1,337,553	本部よりの受託販売
印刷製本費		6,310,000	4,753,466	-1,556,534	資料印刷、等
賃 金		2,817,000	3,932,908	1,115,908	スタッフ賃金
会 議 費		1,322,000	621,408	-700,592	支部総会、世話人会、等
旅費交通費		5,835,000	1,313,528	-4,521,472	移動経費
通信運搬費		5,276,000	5,254,923	-21,077	発送料
諸 謝 金		0	0	0	講師謝金
消 耗 品 費		2,194,000	2,219,440	25,440	事務用品
賃 借 料		6,777,000	4,907,763	-1,869,237	事務所賃料、他
租 税 公 課		0	18,800	18,800	消費税
負 担 金 支 出		2,357,000	1,078,576	-1,278,424	講座、活動者会議
雑 費		3,413,000	2,327,999	-1,085,001	手数料、他
特定資産支出		0	0	0	
当期支出合計		37,701,000	26,491,258	-11,209,742	
当期収支差額		-9,366,000	-968,551	8,397,449	
次期繰越収支差額		33,940,033	42,337,482	8,397,449	

支部会計・貸借対照表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額
流動資産	現金・預金	42,337,482	流動負債		
				流動負債合計	0
	流動資産合計	42,337,482	負債合計		0
固定資産	地域活動推進資産	0	一般正味財産		42,337,482
	その他の固定資産	0	(当期正味財産減少額)		(968,551)
	固定資産合計	0	正味財産合計		42,337,482
資産合計		42,337,482	負債及び正味財産合計		42,337,482

支部会計・財産目録

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部			
I. 流動資産			I. 流動負債			
1. 現金預金	1) 現金	0	流動負債合計			
					0	
	2) 預金 法人口座	42,337,482		負債合計	0	
II. 固定資産	1. 地域活動推進資金	0		正味財産の部		
				一般正味財産	42,337,482	
				(当期正味財産減少額)	(968,551)	
2. その他の固定資産	1) 預金	0		正味財産合計	42,337,482	
				負債及び正味財産合計	42,337,482	
資産合計		42,337,482				

正味財産増減計算書 総括表

2021(令和3)年4月1日より2022(令和4)年3月31日まで

(単位:円)

科目	一般会計	出版部会計	災害支援会計	日本自転車振興会 補助事業会計	支部会計	相殺	合計
【増加原因の部】							
基本財産運用	201	0	0	0	0	0	201
運動推進資産利息収入	36	0	0	0	0	0	36
入会金	120,000	0	0	0	0	0	133,000
会費	24,408,000	0	0	0	0	0	24,408,000
本部還付金	0	0	0	0	0	0	0
本部助成金	0	0	0	0	0	0	0
事業収入	10,742,000	2,437,840	0	0	0	0	12,485,388
補助金等収入	68,800	0	0	0	0	0	13,922,578
負担金収入	174,000	0	0	0	0	0	1,264,609
寄付金収入	21,343,548	0	0	0	0	0	24,679,761
雑収入	77,591	2	0	5	625,730	0	703,389
繰入金収入	0	0	0	1,159,293	0	0	0
合計	56,934,176	2,437,842	61	2,570,556	25,522,707	△ 1,159,293	77,596,962
【減少原因の部】							
社会啓発事業費	17,909,531	0	0	9,786,281	0	0	27,695,812
療育指導事業費	10,183,817	0	0	2,570,556	9,035,354	△ 7,920,400	13,869,327
調査研究事業費	3,024,536	0	0	0	19,992	0	3,044,528
その他事業費	7,742,963	0	0	0	756,617	0	8,499,580
出版事業費	0	2,179,578	0	0	510,378	△ 788,687	1,901,269
災害支援事業費	0	0	483,830	0	0	0	483,830
管理費	11,971,258	0	0	0	6,382,636	0	18,353,894
回収不能額	0	1,235	0	0	0	0	1,235
雑損失	0	0	0	0	0	0	0
繰入金支出	1,159,293	0	0	0	0	△ 1,159,293	0
合計	51,991,398	2,180,813	483,830	2,570,556	26,491,258	△ 9,868,380	73,849,475
当期正味財産増加額	4,942,778	257,029	△ 483,769	0	△ 968,551	0	3,747,487
前期繰越正味財産	30,952,743	△ 20,423,219	6,168,417	0	43,306,033	0	60,003,974
期末正味財産合計額	35,895,521	△ 20,166,190	5,684,648	0	42,337,482	0	63,751,461

収支計算書総括表

2021(令和3)年4月1日より2022(令和4)年3月31日まで

	一般会計	出版部会計	災害支援会計	日本自転車振興会 補助事業会計	支部会計	相殺	合計
【収入の部】							
基本財産運用収入	201	0	0	0	0	0	201
運動推進資産利息収入	36	0	0	0	0	0	36
入会金	120,000	0	0	0	0	0	133,000
会費	24,408,000	0	0	0	0	0	24,408,000
本部還付金	0	0	0	0	7,910,400	△ 7,910,400	0
本部助成金	0	0	0	0	10,000	△ 10,000	0
事業収入	10,742,000	2,437,840	0	0	94,235	△ 788,687	12,485,388
補助金等収入	68,800	0	0	0	12,442,520	0	13,922,578
負担金等収入	174,000	0	0	0	1,090,609	0	1,264,609
寄付金収入	21,343,548	0	0	0	3,336,213	0	24,679,761
雑収入	77,591	2	0	0	625,730	0	703,389
運動推進資産取崩収入	3,393,792	0	0	0	0	0	0
特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0
繰入金収入	0	0	0	1,159,293	0	△ 1,159,293	0
当期収入合計	60,327,968	2,437,842	61	2,570,556	25,522,707	△ 9,868,380	80,990,754
前期繰越収支差額	17,452,743	△ 20,423,219	6,168,417	0	43,306,033	0	46,503,974
収入合計	77,780,711	△ 17,985,377	6,168,478	2,570,556	68,828,740	△ 9,868,380	127,494,728
【支出の部】							
社会啓発事業	17,909,531	0	0	9,786,281	0	0	27,695,812
療育指導事業	10,183,817	0	0	2,570,556	9,035,354	△ 7,920,400	13,869,327
調査研究事業費	3,024,536	0	0	0	19,992	0	3,044,528
その他事業費	7,742,963	0	0	0	756,617	0	8,499,580
出版事業費	0	2,179,578	0	0	510,378	△ 788,687	1,901,269
災害支援事業費	0	0	0	0	0	0	483,830
管理費	11,971,258	0	0	6,382,636	0	0	18,353,894
回収不能額	1,235	0	0	0	0	0	1,235
特定資産預入支出	0	0	0	0	0	0	0
運動推進資産預入支出	0	0	0	0	0	0	0
雑損失	7,893,792	0	0	0	0	△ 1,159,293	0
繰入金支出	1,159,293	0	0	0	0	△ 1,159,293	0
当期支出合計	59,885,190	2,180,813	483,830	2,570,556	26,491,258	△ 9,868,380	81,743,267
当期收支差額	442,778	257,029	△ 483,769	0	△ 968,551	0	△ 752,513
次期繰越取支差額	17,895,521	△ 20,166,190	5,684,648	0	42,337,482	0	45,751,461

(単位:円)

貸借対照表総括表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

科目	一般会計	出版部会計	災害支援会計	日本自転車振興会 補助事業会計	支部会計	相殺	合計
【資産の部】							
流動資産							
現金・預金	47,385,525	909,408	5,684,648	0	42,337,482	△ 42,337,482	53,979,581
未収金	2,308,775	145,355	0	0	0		2,454,130
前払金	27,380	0	0	0	0		27,380
立替金	24,942,925	0	0	0	0	△ 24,877,941	64,984
貯蔵品	14,646	0	0	0	0		14,646
商品	0	3,659,331	0	0	0		3,659,331
流動資産合計	74,679,251	4,714,094	5,684,648	0	42,337,482	△ 67,215,423	60,200,052
固定資産							
基本財産	10,000,000	0	0	0	0	0	10,000,000
特定資産	3,747,487	0	0	0	0	0	3,747,487
運動推進資産	8,000,000	0	0	0	0	0	8,000,000
その他の固定資産	0	0	0	0	0	0	0
固定資産合計	21,747,487	0	0	0	0	0	21,747,487
資産合計	96,426,738	4,714,094	5,684,648	0	42,337,482	△ 67,215,423	81,947,539
【負債の部】							
流動負債							
未払金	558,883	24,880,284	0	0	0	△ 24,877,941	561,226
前受金	1,022,000	0	0	0	0		1,022,000
前受会費	16,244,640	0	0	0	0		16,244,640
預り金	42,696,194	0	0	0	0	△ 42,337,482	358,712
仮受金	9,500	0	0	0	0		9,500
流動負債合計	60,531,217	24,880,284	0	0	0	△ 67,215,423	18,196,078
固定負債	0	0	0	0	0	0	0
負債合計	60,531,217	24,880,284	0	0	0	△ 67,215,423	18,196,078
【正味財産の部】							
正味財産	35,895,521	△ 20,166,190	5,684,648	0	42,337,482	0	63,751,461
負債及び正味財産合計	96,426,738	4,714,094	5,684,648	0	42,337,482	△ 67,215,423	81,947,539

監査報告書

私たち監事は、公益社団法人日本てんかん協会の2021(令和3)年度（2021年4月1日～2022年3月31日）の理事の職務執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および使用人(事務局)等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議の議事録を基に、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方針に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその付属明細書ならびに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ①事業報告は、法令および定款にしたがい、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は、認められません。
- (2) 計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録の監査結果
 - ①計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。
 - ②当該年度の支出が公益目的事業に使用されていることを、確認しました。

2022年5月1日

公益社団法人 日本てんかん協会

監事 鶴井啓司

監事 山内俊雄

公益社団法人 日本てんかん協会
2022(令和4)年度事業計画書（案）の重点概要

はじめに

1973年に協会の前進である二つの組織が活動（てんかん運動）を始めてから、今年度で49年目を迎えます。いよいよ運動50周年を来年に控え、過去からの学びを未来にどう伝え活かすか、そのための課題を整理し新しい時代に突入する準備を進める年です。

運動50周年に向けさまざまな記念事業を準備する中で、組織・活動のさらなる基盤を固めることを目的に「3,000万円募金」に取り組みます。多くの市民の皆さんに、てんかんのある人やその家族の置かれている現状を知ってもらうとともに、周囲に「てんかん」があることを安心して伝えられ、誰もが当たり前に暮らせる社会の実現を目指します。

一方で、2020年から社会生活を大きく変えることになった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は、幾度ものピークを重ねてなお未だに先行きが見通せない日々が続いています。その中で定着してきた、オンラインでの事業の実施やSNSを活用した情報発信など、「新しい生活様式」を取り入れた活動に全国で取り組み、多くのてんかんのある人やその家族が孤立することのないように、社会援護活動の充実を進めます。法人が実施する「てんかん相談ダイヤル」の拡充も進め、全国で取り組みが広がる「てんかん地域診療連携体制整備事業」の拠点施設等の関係機関との連携を強め、さまざまな情報が氾濫する中で、「てんかんの適切な情報はこのダイヤルから」との周知を進めます。

そして今年は、沖縄県が本土復帰50年を迎えた。終戦後の混乱からアメリカ統治下でのてんかん地域医療の過酷さを顧み、これから求められる地域診療に思いをはせ全国大会を沖縄県で開催します。この2年間、規模縮小やオンライン開催が続いたので、今年こそは多くの仲間が集いコロナ禍でも元気に過ごせってきたことを喜び合いたいと思います。

組織を見ますと、慢性的な活動者や活動資金の不足が、深刻です。全国単一組織としてブロック・支部活動の充実は喫緊の課題であり、法人財政の健全化と合わせて次の50年に向けた具体的な将来構想と中期の行動計画を進めます。これまでの活動の評価をしつつも、既定の活動に囚われることなく多角的な視点から組織・活動のあり方を見直します。

これらの現状を踏まえ、協会は改めて医療、福祉、保健、雇用、教育などすべての領域でてんかんのある人が暮らしやすい地域作りの視点から、政府に具体的な政策提言を行います。各種制度・サービスを、障害者福祉の観点だけでなく一般生活者の視点からも捉え直し、その具体的な支援策を検討・提言します。この際には、日本てんかん学会や全国てんかんセンター協議会など専門支援者との連携を図ります。そして、てんかんのある人同士が学習しあいそれを専門職がサポートするしくみも、大切な取り組みと考えています。

以上の内容から、今年度は次のような事業の重点項目と、組織強化に向けた取り組み方針を掲げ、具体的な事業計画を企画し提案いたします。

1. 事業の重点項目

- 1). コロナ禍を前提に、新たな生活様式を取り入れた事業実施の充実を図る
- 2). 医薬品供給不足を体験し、さまざまな不利益被害者等への社会援護活動を充実する
- 3). 運動50周年を機会に、新しい社会啓発・情報発信の道筋を構築する
- 4). てんかんの障害特性を周知し、地域におけるサービスの格差是正をめざす
- 5). てんかんのある人が安心して相談ができる、各地の社会資源との連携を図る

2. 組織強化に向けて

- 1). 地域診療連携体制整備事業の拡充とともに、新たな地域活動の基盤を固める
- 2). 会員の増員とともに、財政の安定化に向けて協賛金等の獲得を推進する
- 3). 運動50年を評価しつつ、新たな組織・活動を見据えた中期将来構想を定める
- 4). 支部とブロックの役割を明確にして、地域活動のさらなる活性化を図る
- 5). 組織・活動の担い手の若返りを図り、新たな時代にあった取り組みを推進する

2022(令和4)年度事業計画書 (案)

※事業名の、★印は新規事業、◎印は特に力を入れる予定の事業

1. てんかんに関する正しい知識の普及啓発及び理解の促進を図るための講演会及び研修会の開催事業

「第45回てんかん基礎講座」の開催 ◎

※ユーシーピージャパン、他協賛事業

- 1). 事業企画委員会の開催
- 2). オンライン開催の充実を図る
- 3). 7月24日～8月19日の間、受講者が自由に視聴できる期間を設置
- 4). テーマと講師
 - ①てんかんとはどういう病気か／鶴澤礼実(高木病院)
 - ②てんかん発作の介助／川崎淳(川崎医院)
 - ③てんかんの治療1－薬物療法－／寺田清人(横浜みのる神経クリニック)
 - ④ 同 2－外科療法－／飯田幸治(広島大学)
 - ⑤てんかんに合併する精神科的障害の治療と対応／田所ゆかり(愛知医科大学)
 - ⑥てんかんと発達障害／菊池健二郎(埼玉県立小児医療センター)
 - ⑦てんかんと学校生活／宮本雄策(聖マリアンナ医科大学)

「第50回全国大会プレ市民公開講座」(東京)の開催 ◎

※ユーシーピージャパン協賛事業

- 1). 日時:9月～11月 午後
- 2). 会場:調整中(23区内の予定)
- 3). テーマ:こどものてんかん、おとなとのてんかん、当事者アピール、他(予定)

「第49回全国大会」(沖縄／本土復帰50年大会)の開催 ◎

※エーザイ、他協賛事業

- 1). 日時:10月22日(土)～23日(日)
- 2). 会場:郡沖縄県男女共同参画センター「ているる」、他
- 3). 内容:開会式(てんかん月間記念式典)、講演、懇親会、閉会式、市民講座、個別相談会、他
- 4). 運営委員会の開催
- 5). 大会運営マニュアルの整備

各種研修会の開催

- 1). 時勢に即して本部・支部において隨時実施
- 2). 相談活動、社会援護事業の模索・準備、支部運営など

支部におけるさまざまな講座の開催

- 1). 全国47支部が年間で実施

「てんかんを正しく理解する月間(てんかん月間2022)」の実施 ◎

※日本てんかん学会と共催事業

- 1). 期間:10月1日～31日
- 2). イメージカラーとてんかんに関する宣言の周知
- 3). ポスター、パンフレット、あかりちゃんピンバッヂなどの作成・配布
- 4). 全国大会における中央集会(記念式典)の開催

- 5). 木村太郎記念賞、功労賞の贈呈
- 6). 中央イベント、SNSを活用した発信、全国統一活動の実施、マスコミを活用した啓発活動 ◎
- 7). 街頭啓発・署名活動・啓発パネル展・無料相談会などを全国各地で実施
- 8). てんかんをめぐる最新の動向をテーマとしたメディアセミナーの開催 ◎
- 9). 市民公開講座の実施(オンラインを含)

専門職種に対するスキルアップ・プロジェクトの実施

※ユーシーピージャパン協賛事業

- 1). 企画委員会の実施
- 2). 日本てんかん学会、看護領域への協力要請
- 3). 各種学会におけるランチョンセミナーでの共同事業

各種パンフレット等の活用・作成

- 1). 協会活動広報PRビデオの活用
- 2). 新型コロナウイルス感染症関連資料の配布
- 3). てんかんおよびてんかん運動を正しく知ってもらうための各種啓発資材の作成・配布
- 4). てんかん学会会員の医療機関に対しポスター・リーフレットを配付・掲示の促進
- 5). ホームページ(HP)での協会資料のダウンロードを実施

マスコミ等との連携

- 1). 自動車運転(免許)に関する適切な情報提供(京都祇園暴走事故から10年) ◎
- 2). 地震、台風、豪雨などの自然災害による被災地やウイルス感染への適切な情報提供
- 3). 正しい知識の普及、当事者とその家族による理解の促進(特に教育現場へ向けて)
- 4). マスメディアを対象とした事業の実施
- 5). 記事、放送内容への働きかけと情報提供
- 6). マスコミを通じた特集・連載記事の実現(働きかけ)
- 7). 「世界てんかんの日(IED)」を通じた啓発活動 ◎

※協賛金事業

情報提供機能の充実

- 1). 関連する図書・資料の整備・充実
- 2). 国内外の最新情報の確保・提供
- 3). インターネット(特にSNS)を活用した情報発信 ◎
- 4). IT・情報活用委員会の開催

迅速で適切な情報の提供

1. メールマガジンの発行 ◎

- 1). 適宜発行(希望登録者へのメール配信)
- 2). FAX.通信も隨時発行
- 3). 本部・支部間連絡リスト renrakumiでも隨時情報発信

2. ホームページ(インターネット)の充実 ◎

- 1). Home Page <https://www.jea-net.jp/>
- 2). #テンカン(100通りのジンセイ) <https://100stylesof.life/>
- 3). ニーズに即したWeb配信活動の継続的な見直し

権利擁護活動

- 1). 全国各地から寄せられたSOSに隨時対応
- 2). 各領域の社会資源と連携をした支援活動

2. てんかんのある人とその家族に対する相談及び指導等の支援事業

てんかんに関する相談および支援

- 1). 法に則した自動車運転に関する適切な指導 ◎
- 2). 地震、台風、豪雨などの自然災害被災者への相談支援活動と「災害対応ガイド」の配布
- 3). 専門相談員等による電話相談(本部では毎週3回)・来所相談(本部では隨時)の強化 ◎
- 4). 支部・ブロックにおける相談活動の充実
- 5). ピアソポーターの育成、ペアレントメンターへの取り組み
- 6). 日本電話相談学会、民間相談員連絡協議会など相談支援専門機関・団体との連携
- 7). 日本てんかん学会、全国てんかんセンター協議会等との連携の推進
- 8). 「ぜんちのあんしん保険」等への協賛(推奨)・民間保険会社との連携(各商品情報提供)
- 9). 社会保険労務士による「年金教室」開催との連携
- 10). 相談コーディネーターの養成・研修
- 11). オリジナルおくすり手帳の配布とヘルプマーク活用の推進

地域における福祉保健・医療の向上を目的とした活動

- 1). てんかんを正しく理解する取り組み
- 2). 子育て“いきいき”支援事業
- 3). 権利擁護活動の充実(協力弁護士など社会資源ネットワークの充実)
- 4). 各種社会福祉事業の立ち上げ・運営への取り組み
- 5). 地域における療育活動の情報を集約しネットワーク化を推進
- 6). 地域てんかん医療体制の充実とヘルプマーク等活用推進
- 7). てんかんのある人々の自立生活プログラム

※東京都福祉保健財団助成事業

集団・個別療育指導活動

※全国心身障害児福祉財団助成事業

- 1). キャンプの実施(支部を中心とした地域活動)
- 2). 水泳教室の開催(同上)
- 3). レクリエーションの実施(同上)

当事者グループ活動の充実・支援

- 1). てんかん月間・街頭啓発活動への主体的・積極的参加
- 2). 当事者支援委員会の開催と当事者のエンパワメント
- 3). メーリングリストによる情報・意見交換
- 4). 当事者交流活動の新たな取り組み(オンライン対応) ★
- 5). MOSES、faMOSESプログラムの普及・啓発

見学・研修(当事者・家族・専門職・学生、など)への対応

- 1). 協会活動の紹介、参考文献・各種資料等の閲覧
- 2). てんかんに関する研修講師の派遣・紹介
- 3). 各種研修会を本部・支部において実施
- 4). ボランティア(研究者、専門職、マスコミ、一般市民など)による協力体制の拡充
- 5). 当事者の渡航、留学、来日などに対する協力

支部・ブロック活動の充実・支援・活性化

- 1). 支部還付金の交付
- 2). キャンプ助成金の交付
- 3). ブロック委員会の開催
- 4). 全国支部活動者会議およびブロック会議・ブロック大会等の開催
- 5). 「支部活動の手引」(マニュアル)の改訂(内規、細則の見直し、会計管理の準則)
- 6). アステラス・スターライトパートナー「ピアサポートー」養成研修等への参加

3. てんかんに関する調査及び研究事業

MOSES、FaMOSESを活用したトレーナー養成事業の実施準備 ※日本てんかん学会と共催事業

- 1). 企画委員会の開催
- 2). 事業報告書の作成
- 3). 小児・家族編の編纂
- 4). MOSES基金の運用と専用サイトの運営

創薬ボランティア活動

- 1). 治験に関する啓発活動
- 2). 製薬企業との情報交換による最新情報の提供
- 3). 関連学会への抗てんかん薬・開発治験促進の働きかけ
- 4). 未承認薬の新規、適用拡大、単剤使用など各承認の迅速化、承認前使用、保険適用の運用整理、稀少疾病用薬品の指定、薬価基準、などへの要望活動
- 5). 添付文書の改訂要望

各種調査・研究事業の実施と協力

- 1). 会員実状調査および当事者ニーズ調査の実施 ★
- 2). 相談専用ダイヤル実施状況分析活動、支部活動実状調査の実施 ★
- 3). 市民意識、ステイグマ、移動と法改正の影響、救急医療搬送、各調査報告書の公表・周知
- 4). 地域診療連携体制整備事業の評価調査に向けた準備 ★
- 5). 公的サービスにおけるてんかん評価の基準に関する情報の周知
- 6). 行政、他団体などへの協力

4. 情報誌等の出版物の刊行及び取扱い事業

月刊「波」の発行

- 1). 毎月7,000部発行 ◎

- 2). 電子書籍版の配信・充実
- 3). 周知チラシの作成
- 4). 抜き刷り印刷提供サービスの試行 ★
- 5). 編集委員会の開催(毎月)

支部機関誌紙の発行・交流

- 1). 全国47支部が毎月発行、情報誌紙としての充実
- 2). てんかん情報センターなどへ寄贈
- 3). 法人HPからの会員宛配信を実施

小冊子・ビデオの作成・広報

- 1). IE NEWS日本語版(季刊) ※住友ファーマ協賛事業
- 2). てんかんを知る・入門シリーズ
- 3). 新版「てんかん基礎小冊子」の配布
- 4). 「波」掲載企画(特集、連載)の分冊・小冊子化(nami selection、他)
- 5). 「抗てんかん薬ポケットブック・第7版」の作成・頒布 ★ ※協賛金事業
- 6). 既刊ビデオ・DVDのインターネット配信
- 7). 「援助の実際」シリーズのDVD版の周知

各種パンフレット等の活用・作成

※再掲 (1. てんかんに関する正しい知識の普及啓発及びその理解の促進を図るための講演会
及び研修会の開催事業)

てんかん関連書籍の頒布

※再掲 (6. てんかんと専門医療に関する書籍等の普及)

5. 国内外の関連団体との連携及び交流

関係機関・団体との連携 ※必要に応じて企画・自己負担金発生

1. 関係団体への加盟

- 1). 國際てんかん協会(IBE)
- 2). 全国心身障害児福祉財団(福祉財団)
- 3). 全国社会福祉協議会・障害関係団体連絡協議会(全社協・障連協)
- 4). 全国病弱・障害児の教育推進連合会(病障連)
- 5). 日本障害者協議会(JD)
- 6). 全国てんかんセンター協議会(JEPICA) *協力会員として参画

2. 関係する学会との連携

- 1). 日本てんかん学会
- 2). 日本てんかん外科学会
- 3). 日本小児神経学会
- 4). 日本精神神経学会
- 5). 日本神経学会

- 7). 日本脳神経外科学会
- 8). 日本発達障害学会
- 9). 日本精神科救急学会
- 10). その他、必要に応じて関係学会と連携

3. 関係する団体等との連携

- 1). てんかん治療研究振興財団
- 2). 日本障害フォーラム(JDF)
- 3). 日本障害者リハビリテーション協会
- 4). 全日本手をつなぐ育成会連合会
- 5). 日本発達障害連盟
- 6). 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)
- 7). 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
- 8). 認知症の人と家族の会
- 9). 日本難病・疾病団体協議会(JPA)
- 10). Glut1異常症患者会
- 11). ドラベ症候群患者家族会
- 12). ウエスト症候群患者家族会
- 13). Hand Stamp Art Project(HSAP)
- 14). J-PALS・患者支援団体サミット
- 15). 社労士たまごの会
- 16). 日本製薬工業協会
- 17). 米国研究製薬工業協会・患者団体支援プログラム
- 18). 東京都神経科学総合研究所(東京都医学研究機構)
- 19). その他、必要に応じて関係団体等と連携

4. 関係するてんかん機関・病院等との連携(※全国てんかんセンター協議会会員施設を除く)

- 1). 東京女子医科大学
- 2). むさしの国分寺クリニック
- 3). てんかん専門病院 ベーテル
- 4). 新宿神経クリニック
- 5). 埼玉医科大学かわごえクリニック
- 6). 原クリニック(横浜)
- 7). 田中神経クリニック(横浜)
- 8). 川崎医院(京都)
- 9). 横浜みのるてんかん・神経クリニック
- 10). 日本橋神経クリニック
- 11). その他の医療機関

国際活動の実施

- 1). 国際てんかん協会(IBE)日本支部としての活動
- 2). IE NEWS日本語版の発行(再掲)
- 3). 「世界てんかんの日(IED)」記念イベントの国内開催 ◎ ※日本てんかん学会と共催事業
- 4). 第14回アジア・オセアニアてんかん学会議(AOEC／Web)
- 5). 山内俊雄国際基金の活用

- 6). 世界保健総会(WHO)への働きかけ
- 7). 国際委員会の開催

学会・協会合同会議の開催

- 1). 年間2回、日本てんかん学会執行部との意見交換
- 2). テーマ: 地域医療のあり方、組織・事業の連携、今後の協議テーマ、その他

専門職種に対するスキルアッププロジェクトの実施

※ユーシーピージャパン協賛事業

- 1). 各種看護学会でランチョンセミナー等を開催
- 2). 3学会を予定(脳神経外科、慢性疾患、小児科の各領域)

6. てんかんと専門医療に関する書籍等の普及

てんかん関連書籍の頒布

- 1). 支部活動と連携をした書籍紹介・頒布
- 2). 関連優良図書の受託販売
- 3). 出版社や医師等と連携をした新刊本発刊の検討
- 4). 関係団体事業や関連学会会場での協会ブースの設営と出張販売

てんかんライブラリーの拡充

- 1). てんかんに関連する図書・資料の整備・充実
- 2). 国内外のてんかん最新情報の確保・提供

7. てんかんに関する諸制度の推進

関連法制度改正に伴う改革・改善への働きかけ

1. 施策推進・意見表明

- 1). 基幹施設(てんかんセンター)の整備促進と地域診療連携体制整備の拡充
- 2). 専門医・専門医療体制の整備・充実
- 3). 自動車運転に関する適切な制度運用
- 4). 生活の場面に応じた障害の支援程度区分と評価
- 5). 所得保障制度
- 6). 精神障害者保健福祉手帳のサービス拡大
- 7). 就業支援施策
- 8). 学校教育施策
- 9). 障害者総合支援法に伴う福祉サービスの充実と自立支援医療制度の柔軟運用
- 10). 障害者権利条約、障害者差別解消法、障害者虐待防止法など社会参加改善
- 11). 政策郵便制度(低料第三種郵便制度、他)
- 12). その他

2. 請願署名活動・全国要望行動の実施 ◎

- 1). 請願署名活動の強化
- 2). 協力御礼チラシの作成

- 3). 国会請願活動
 - ①全ての国会議員に協力を要請
 - ②6月初旬：請願書と署名簿の分散持ち込み
 - ③会合は中止し、国会議員への当事者・家族からのメッセージを配布
- 4). 2008年度・2015～21年度に採択された項目の具現化の推進
- 5). 地域医療計画にてんかん医療施策を明記するなどの、市区町村への要望活動に向けた課題整理と全国展開

3. 制度見直しへの意見・対応

- 1). 議員・議会への働きかけ
 - ①てんかん対策推進プロジェクトチーム、障害者・福祉・保健等関連議員連盟、等
 - ②各政党への要望活動、等
 - ③地方議員・議会
 - 2). 各種委員会・研究会等の傍聴と意見提出
 - ①福祉制度
 - ②労働政策
 - ③医療・医薬品承認
 - 3). てんかんのある人とその家族・行政施策に関する現状把握
 - ①手帳サービス拡大に向けた他団体との連携 ◎
 - ②会員実態調査の実施に向けたプロジェクトの検討
 - 4). 福祉施策等検討委員会の開催
- ### 4. 創薬推進活動の実施
- 1). 製薬企業等との連携による最新情報の提供
 - 2). 関連学会等との連携をした発治験促進の働きかけ
 - 3). 難治てんかんの治療に用いられる治療法に関する要望

8. その他波の会の目的を達成するために必要な事業

組織強化・拡大に向けた取り組み

1. 委員会の開催

- 1). 日本てんかん学会・日本てんかん協会合同会議(年間2回)【再掲】
- 2). 運動50周年に向けた組織・運動の見直し、記念事業の準備を推進 ★◎
- 3). 「あかりちゃん夢基金」の募金活動を推進 ★◎

2. 情報誌「波」を拡げよう運動 ◎

- 1). 「波」を読もうチラシの作成・配布(周知)
- 2). 「てんかん月間」における会員獲得強化運動の実施
- 3). 病院の待合室に「波」をおいてもらおう運動の全国展開
- 4). 関係機関への協賛購読(会員)推進強化活動

3. 支部・ブロックの活性化 ◎

- 1). 都道府県・市区町村に対する全国統一要望活動の継続
- 2). 「2022年度全国支部活動者会議」の開催
 - ①夏から秋の時期に、オンラインで開催を計画
 - ②支部活動者の要請、地域連携と啓発、組織の安定化に向けた意見交換、質疑応答

- 3). ブロック別活動の展開
- ①ブロック委員会の開催
 - ②「ブロック会議」、「ブロック大会」の開催
 - ③ブロック担当理事とブロック副理事との連携
 - a. 北海道、b. 東北、c. 関東、d. 中部、e. 北越、f. 近畿、g. 中国、h. 四国、i. 九州
 - ④日本てんかん学会「地方会」との連携
 - ⑤てんかん地域診療連携体制整備事業拡充と地域交通網での手帳サービス対象拡大

各種会議の開催

- 1). 第45回総会
 - ①日時: 6月5日(日)
 - ②会場: 本部事務局(予定)
 - ③議案: 2021年度事業・会計報告書、2022年度事業計画書(案)・予算書(案)
- 2). 理事会(年間6回)
- 3). 業務執行理事会(随時)
- 4). 支部総会(47カ所で4月中に開催))

委員会活動 (※委員会運営規程に基づく)

- 1). 「波」編集委員会
- 2). 当事者支援委員会
- 3). 國際委員会
- 4). IT・情報活用委員会
- 5). 事業企画委員会
- 6). 施策推進委員会
- 7). 会員サービス・相談支援委員会
- 8). ブロック委員会
- 9). 運動50周年記念事業委員会

法人の管理

- 1). 法人登記、会長および業務執行理事の交代に伴う諸手続
- 2). 会員管理、地方活動拠点の指導
- 3). 法人諸規程・規則・内規等の整備
- 4). 職員の人事・労務管理
- 5). 各種表彰等の推薦事務手続き
- 6). 公益社団法人事務の適正実施 ◎

財務・会計業務

- 1). 一般会計および特別会計の適正処理
- 2). 中長期の財務計画の策定 ◎
- 3). 公認会計士による公益法人会計処理の指導(インボイス制度の適正実施) ◎
- 4). 新公益法人会計基準の遵守
- 5). 会費納入制度の新システム導入に向けた検討

第4号議案

2022(令和4)年度予算書(案)概要 (2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 2022(令和4)年度は、一般会計と4つの特別会計(出版部会計、災害支援会計、あかりちゃん夢基金会計、支部会計)で構成します。これら5つの会計を総括表にまとめて、法人全体の収支予算を示します。

2. 今年度の法人全体の当期収入額が約10,082万円、当期支出額が約10,361万円です。これにより、今年度の総事業費は約279万円の支出が超過する予算です。

ただし、前期までの繰越金を計上しますので、次期繰越金額は約4,075万円のプラス計上です。多くの繰越金は、支部会計に計上します。

各会計別の収支では、一般会計が新型コロナウィルス感染拡大による現状を鑑み、さまざまな事業をオンラインにて実施することによる経費の見直しを行い支出を抑えた予算計上です。次に出版会計は、新規取扱い書籍などが増えることを受け販売促進を図り、収支ゼロが最低限の達成目標です。また、現時点では災害支援会計の予算は計上していません。新型コロナウィルス感染拡大などの状況に応じて、理事会にて緊急対応を計上することも想定します。

また、年度の途中で補助・助成金事業が決定した場合は、理事会において補正予算を計上します。

さらに、てんかん運動50周年を記念して、あかりちゃん夢基金に取り組みます。今年度は、募金活動をスタートするとともに、各記念事業の準備に当たります。

なお支部会計は、今年度は約1,353万円の支出超過を予定しています。これは、公益法人として内部留保額の適正化を図ることから、これまで蓄積してきた資金を新たな公益活動を行うことで使用するという、本来求められている活動を予定している結果です。

3. 今年度も安定した財源の獲得をめざし、事業・活動の新しい取り組みを模索します。会費のあり方や収入に見合った組織規模と活動の展開などを運動50年の総括の中で見直します。まずは、コロナ禍の状況により、さまざまな活動がオンラインでの実施を継続しますが、会費額や事業収入が大きく減少しないよう各地での活動再開に取り組みます。

法人本部では、協賛金減少などの影響もあり、財政が大きな危機を迎えています。会費に依存する活動が難しくなってきているので、てんかん基礎講座の受講者拡大、「波」誌面や専用ホームページなどへの協賛広告の募集などにも、積極的に取り組みます。また、新規取扱い書籍などが増えたことを受けてさらなる販売促進を図り、出版部の売上げ増も目指します。

支出については、引き続き事業費や固定費用の節減に取り組みます(理事会開催費、事務所経費、など)。加えて、てんかん月間(10月)や世界てんかんの日記念イベント(2月)に取り組み、広く社会にアピールをすることで、公益法人として意義のある寄付金募金活動を、協賛企業などの理解も得ながら、さらに進めて行きます。

2022(令和4)年度一般会計予算書(案)

当期収入	59,383 千円
当期支出	58,234 千円
当期差引残高	1,149 千円

[収入の部]

科目		予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目				
基本財産運用	基本財産利息	1	1	0	有価証券受取利息
	小計	1	1	0	
特定資産運用	特定資産利息	1	1	0	有価証券受取利息
	小計	1	1	0	
入会金	正会員入会金	80	80	0	新入会者
	賛助会員入会金	10	10	0	新入会者
	家族会員入会金	10	10	0	新入会者
	購読会員入会金	10	10	0	新入会者
	小計	110	110	0	
会費	正会員会費	18,000	19,800	-1,800	個人会費
	賛助会員会費	6,000	6,030	-30	個人・団体会費
	購読会員会費	920	936	-16	個人・団体会費
	小計	24,920	26,766	-1,846	
事業収入	社会啓発	10,100	6,400	3,700	基礎講座受講料
	療育指導	6	6	0	面接相談料(一般)
	調査研究	0	0	0	
	その他	175	280	-105	全国大会
	小計	10,281	6,686	3,595	
補助金等	国庫	0	0	0	
	地方公共団体	0	0	0	
	民間	400	400	0	保護者研修など(全国財団経由)
	小計	400	400	0	
負担金収入	社会啓発	0	0	0	
	療育指導	0	0	0	
	調査研究	150	250	-100	AOEC
	その他	1,490	500	990	全国大会、他
	小計	1,640	750	890	
寄付金	寄付金	3,000	3,062	-62	個人寄付金、他
	協賛金	18,905	20,840	-1,935	協賛広告、事業協力金(基礎講座、月間、全国大会、IED、ポケットブック他)
	小計	21,905	23,902	-1,997	
雑収入	受取利息	1	1	0	金融機関預け入れ利息
	雑収入	50	50	0	印税、他
	小計	51	51	0	
固定資産売却益	基本財産	0	0	0	
	什器備品売却	0	0	0	
	投資有価証券売却	0	0	0	
	小計	0	0	0	
敷金・保証金戻	敷金戻り	0	0	0	
	保証金戻り	0	0	0	
	小計	0	0	0	
借入金	短期借入金	0	0	0	
	長期借入金	0	0	0	
	小計	0	0	0	
金銭信託・定期預金収入		0	0	0	
他会計繰入金		74	74	0	出版会計より
当期収入合計		59,383	58,741	642	
前期繰越収支差額		17,896	17,453	443	
収入合計		77,279	76,194	1,085	

[支出の部]

科目		予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目				
社会啓発事業費	給与手当	1,355	1,934	-579	2名分按分
	臨時雇賃金	910	734	176	1名分(「波」)
	退職金掛金	105	105	0	1名分按分
	法定福利費	230	230	0	2名分按分
	福利厚生費	10	10	0	2名分按分
	旅費交通費	469	441	28	「波」編集委員会、基礎講座、月間
	通信運搬費	2,803	2,633	170	「波」発送、基礎講座、月間
	消耗品費	50	50	0	インターネット
	印刷製本費	10,175	10,194	-19	「波」、基礎講座、IEニュース、月間、ポケットブック
	貢借料	1,300	1,300	0	「波」サーバー、基礎講座
	諸謝金	670	560	110	基礎講座
	負担金支出	116	110	6	IEnews
	助成金支出	0	0	0	
	寄付金支出	0	0	0	
	委託費	2,051	1,950	101	基礎講座
療育指導事業費	雑費	62	62	0	「波」編集委員会、基礎講座、てんかん月間
	予備費	50	50	0	「波」、基礎講座、てんかん月間
	小計	20,356	20,363	-7	
	給与手当	1,570	2,900	-1,330	2名分按分
	臨時雇賃金	850	820	30	相談員(4名)
	退職金掛金	88	80	8	1名分按分
	法定福利費	160	150	10	2名分按分
	福利厚生費	80	75	5	同上
	旅費交通費	128	180	-52	相談員(4名)、医療相談員、当事者活動
	通信運搬費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	印刷製本費	0	0	0	
	貢借料	10	10	0	当事者活動
	諸謝金	0	0	0	
	負担金支出	0	0	0	
調査研究事業費	助成金支出	60	60	0	キャンプ助成金
	寄付金支出	0	0	0	
	委託費	8,000	8,500	-500	支部還付金
	雑費	44	44	0	送金手数料
	予備費	0	0	0	
	小計	10,990	12,819	-1,829	
	給与手当	1,200	1,560	-360	2名分按分
	臨時雇賃金	910	734	176	1名分
	退職金掛金	0	0	0	
	法定福利費	0	0	0	
	福利厚生費	0	0	0	
	会議費	0	0	0	
	旅費交通費	0	20	-20	国際交流
	通信運搬費	10	10	0	
	消耗品費	0	0	0	
	印刷製本費	160	160	0	支部活動調査
	貢借料	160	0	160	IEDイベント
	諸謝金	200	200	0	IEDイベント
	負担金支出	111	110	1	IBE会費、AOEC
	助成金支出	0	0	0	
	寄付金支出	58	55	3	IBE活動
	委託費	0	50	-50	
	雑費	12	12	0	資料代、手数料、他
	予備費	505	155	350	IEDイベント、他
	小計	3,326	3,066	260	

科目		予算額 (千円)	予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目				
その他事業費	給与手当	2,770	2,900	-130	2名分按分
	臨時雇賃金	910	734	176	1名分
	退職金掛金	88	80	8	1名分按分
	法定福利費	160	150	10	2名分按分
	福利厚生費	80	75	5	同上
	旅費交通費	2,000	693	1,307	全国大会、委員会活動、他
	通信運搬費	374	650	-276	全国大会、署名活動
	消耗品費	165	255	-90	全国大会、署名活動、他
	印刷製本費	1,110	1,010	100	全国大会、署名用紙
	賃借料	160	19	141	ブロック会議
	諸謝金	200	500	-300	全国大会
	負担金支出	201	101	100	加盟団体会費
	助成金支出	0	0	0	
	寄付金支出	0	0	0	
	委託費	0	0	0	
	雑費	595	595	0	資料購入、他
	予備費	230	30	200	全国大会、他
小計		9,043	7,792	1,251	
管理費	役員報酬	1,080	1,080	0	1名分
	給与手当	2,400	3,130	-730	2名分按分
	臨時雇賃金	0	0	0	
	退職金掛金	0	510	-510	
	法定福利費	1,250	1,250	0	2名分按分
	福利厚生費	56	56	0	同上
	会議費	194	194	0	理事会、総会費用
	旅費交通費	845	845	0	2名分
	通信運搬費	975	975	0	電話代、切手、宅配料金
	消耗品費	772	202	570	事務用品、ホームページ
	修繕費	0	0	0	事務機
	印刷製本費	375	375	0	活動資料
	水道光熱費	144	144	0	事務局
	賃借料	5,182	4,682	500	事務所、リース代
	災害保険料	8	8	0	事務所
	諸謝金	550	770	-220	公認会計士
	租税公課	200	200	0	消費税
	負担金支出	450	100	350	PC保守料
	寄付金支出	30	30	0	不祝儀、他
	雑費	8	2	6	手数料、他
	予備費	0	3	-3	
小計		14,519	14,556	-37	
雑損失		0	0	0	
固定資産取得	什器備品購入	0	0	0	
	電話加入権購入	0	0	0	
	小計	0	0	0	
借入金返済	短期借入金返済	0	0	0	
	長期借入金返済	0	0	0	
	小計	0	0	0	
他会計繰入		0	0	0	
特定預金		0	0	0	
当期支出合計		58,234	58,596	-362	
当期收支差額		1,149	14,009	-12,860	
次期繰越収支差額		19,045	31,462	-12,417	

2022(令和4)年度出版部会計予算書(案)

当期収入	4,064 千円
当期支出	4,064 千円
当期差引残高	0 千円

[収入の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
売上(一般)	2,664	2,664	0	個人・書店など直接販売
売上(地方)	1,400	1,400	0	支部を通じた売上
雑 収 入	0	0	0	
他会計繰入	0	0	0	一般会計より
当期収入合計	4,064	4,064	0	
前期繰越	-20,166	-20,423	257	
収入合計	-16,102	-16,359	257	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
仕 入	2,000	2,000	0	他社からの受託販売
印刷製本費	400	400	0	ポケットブック
給 与 手 当	0	0	0	
臨時雇賃金	0	0	0	1名分
退職金掛金	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	1名分
広告宣伝費	30	30	0	関係雑誌等に掲載
通信運搬費	10	10	0	発送料
消 耗 品 費	10	10	0	事務用品
賃 借 料	1,400	1,400	0	倉庫、電子書籍システム代
租 稅 公 課	120	120	0	消費税
雑 費	10	10	0	送金手数料、他
回収不能額	10	10	0	売掛金
繰入金支出	74	74	0	一般会計へ
当期支出合計	4,064	4,064	0	
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	-20,166	-20,423	257	

2022(令和4)年度災害支援会計予算書(案)

当期収入	0 千円
当期支出	0 千円
当期差引残高	0 千円

[収入の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
寄付金	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
当期収入合計	0	0	0	
前期繰越	5,684	6,168	-484	
収入合計	5,684	6,168	-484	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
印刷製本費	0	0	0	
臨時雇賃金	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
広告宣伝費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
雑費	0	0	0	
寄付金支出	0	0	0	
繰入金支出	0	0	0	
当期支出合計	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	5,684	6,168	-484	

2022(令和4)年度あかりちゃん夢基金予算書(案)

当期収入	20,000 千円
当期支出	10,410 千円
当期差引残高	9,590 千円

[収入の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
寄付金	20,000	0	20,000	個人、法人(企業・団体)寄附金
雑収入	0	0	0	
当期収入合計	20,000	0	20,000	
前期繰越	0	0	0	
収入合計	20,000	0	20,000	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
印刷製本費	50	0	50	募集案内、他
臨時雇賃金	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
広告宣伝費	0	0	0	
通信運搬費	30	0	30	募集案内、他
消耗品費	300	0	300	記念サイト、他
賃借料	0	0	0	
雑費	30	0	30	手数料、他
特定預金預入支出	10,000	0	10,000	運動推進資産へ
当期支出合計	10,410	0	10,410	
当期収支差額	9,590	0	9,590	
次期繰越収支差額	9,590	0	9,590	

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022(令和4)年度支部会計予算書(案)

当期収入	26,906 千円
当期支出	40,433 千円
当期差引残高	-13,527 千円

[収入の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目			
本部還付金	-	8,000	8,500	-500 47支部
	小計	8,000	8,500	-500
本部助成金	-	60	60	0 キャンプ
	小計	60	60	0
入会金	-	94	127	-33 新入会者
	小計	94	127	-33
事業収入	書籍販売	466	402	64 書籍売上
	小計	466	402	64
補助金等	地方公共団体	12,616	12,885	-269 地方公共団体等
	小計	12,616	12,885	-269
負担金収入	社会啓発	2,797	3,507	-710 講座、等
	その他	0	0	0 大会、等
	小計	2,797	3,507	-710
寄付金	寄付金	2,266	2,266	0 個人寄付金、他
	小計	2,266	2,266	0
雑収入	雑収入	607	588	19 金融機関預け入れ利息、雑収入
	小計	607	588	19
他会計繰入金	0	0	0	
当期収入合計	26,906	28,335	-1,429	
前期繰越収支差額	43,306	43,306	0	
収入合計	70,212	71,641	-1,429	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
仕 入	1,400	1,400	0	本部よりの受託販売
印刷製本費	5,144	6,310	-1,166	資料印刷、等
賃 金	3,679	2,817	862	スタッフ賃金
会 議 費	1,789	1,322	467	支部総会、世話人会、等
旅費交通費	6,671	5,835	836	移動経費
通信運搬費	5,683	5,276	407	発送料
諸 謝 金	0	0	0	講師謝金
消耗品費	2,254	2,194	60	事務用品
賃 借 料	6,406	6,777	-371	事務所賃料
租 稅 公 課	0	0	0	税金等
保 険 料	0	0	0	ボランティア保険等
負担金支出	3,297	2,357	940	講座、活動者会議、全国大会
雜 費	4,110	3,413	697	手数料、他
繰入金支出	0	0	0	
当期支出合計	40,433	37,701	2,732	
当期収支差額	-13,527	-9,366	-4,161	
次期繰越収支差額	29,779	33,940	-4,161	

●公益社団法人日本てんかん協会●

【 2022(令和4)年度会計予算書(案)】 収支計算書総括表

2022(令和4)年4月1日より2023(令和5)年3月31日まで

(単位:千円)

科目	一般会計	出版部会計	災害支援会計	あかりちゃん 夢基金会計	支部会計	相殺	合計
【収入の部】							
基本財産運用収入	1	0	0	0	0	0	1
特定資産運用収入	1	0	0	0	0	0	1
本部還付金	0	0	0	0	8,000	△ 8,000	0
本部助成金	0	0	0	0	60	△ 60	0
入会金	110	0	0	0	94	0	204
会費	24,920	0	0	0	0	0	24,920
事業収入	10,281	4,064	0	0	466	△ 1,400	13,411
補助金等収入	400	0	0	0	12,616	0	13,016
負担金収入	1,640	0	0	0	2,797	0	4,437
寄付金収入	21,905	0	0	0	2,266	0	44,171
雑収入	51	0	0	0	607	0	658
特定資産収入 (情報誌刊行事業資産)	0	0	0	0	0	0	0
金銭信託収入 (基本運用財産)	0	0	0	0	0	0	0
繰入金収入	74	0	0	0	0	△ 74	0
当期収入合計	59,383	4,064	0	20,000	26,906	△ 9,534	100,819
前期繰越支差額	17,896	△ 20,166	5,684	0	42,337	0	45,751
収入合計	77,279	△ 16,102	5,684	20,000	69,243	△ 9,534	146,570
【支出の部】							
社会啓発事業	20,356	0	0	0	13,187	0	33,543
療育指導事業	10,990	0	0	0	13,282	△ 8,060	16,212
調査研究事業費	3,326	0	0	0	340	0	3,666
その他の事業費	9,043	0	0	0	4,285	0	13,738
管理費	14,519	0	0	0	7,447	0	21,966
仕入費	0	2,000	0	0	1,400	△ 1,400	2,000
諸費	0	1,980	0	0	492	0	2,472
回収不能額	0	10	0	0	0	0	10
雑損失	0	0	0	0	0	0	0
繰入金支出	0	74	0	0	0	△ 74	0
特定資産預入支出	0	0	0	10,000	0	0	10,000
当期支出合計	58,234	4,064	0	10,410	40,433	△ 9,534	103,607
当期収支差額	1,149	0	0	9,590	△ 13,527	0	△ 2,788
次期繰越支差額	19,045	△ 20,166	5,684	9,590	28,810	0	42,963

意 見 書

●この議案書および日頃の協会活動について、ご提案・ご要望やご感想などがあればありましたら、この用紙にご記入の上、協会(本部事務局)までお送りください。

氏名		会員番号	正一	一
ご住所	都道府県			
〒	一	電 話		

意 見 書

●この議案書および日頃の協会活動について、ご提案・ご要望やご感想などがありましたら、この用紙にご記入の上、協会(本部事務局)までお送りください。

氏名		会員番号	賛一 購一 家一	— — —
ご住所	都道府県			
	〒	—	電 話	